リケンテクノス株式会社

決算・経営概況説明会

2027年3月期 第2四半期（中間期）

2026年11月20日



2027年3月期 上期決算説明

SECTION

01 2027年3月期 上期決算概要

02 セグメント別概況

03 中長期的取り組み

2027年3月期上期　連結業績サマリー

（単位：百万円）

	2026年3月期 上期実績	2027年3月期 上期実績	前年同期比	増減率	2027年3月期 上期業績予想
売上高	65,567	72,509	6,942	10.6%	72,500 (71,000)
売上総利益	12,612	16,272	3,660	29.0%	-
営業利益	5,533	8,688	3,155	57.0%	7,900 (5,700)
経常利益	5,486	8,663	3,177	57.9%	7,900 (5,700)
親会社株主に帰属する中間純利益	3,461	6,233	2,772	80.1%	6,100 (3,400)
1株当たり中間純利益(円)	68.63	133.01	64.38	93.8%	136.07 (71.44)
ROS(%)	8.4	12.0	3.6	-	10.9 (8.0)
EBITDA	7,520	11,015	3,495	46.5%	10,350 (8,150)
ナフサ価格(円/kl)	64,750	108,350	43,600	-	-
平均為替レート(円/USD)	149.00	158.31	9.31	-	158.00 (158.00)

※7/31 修正予想

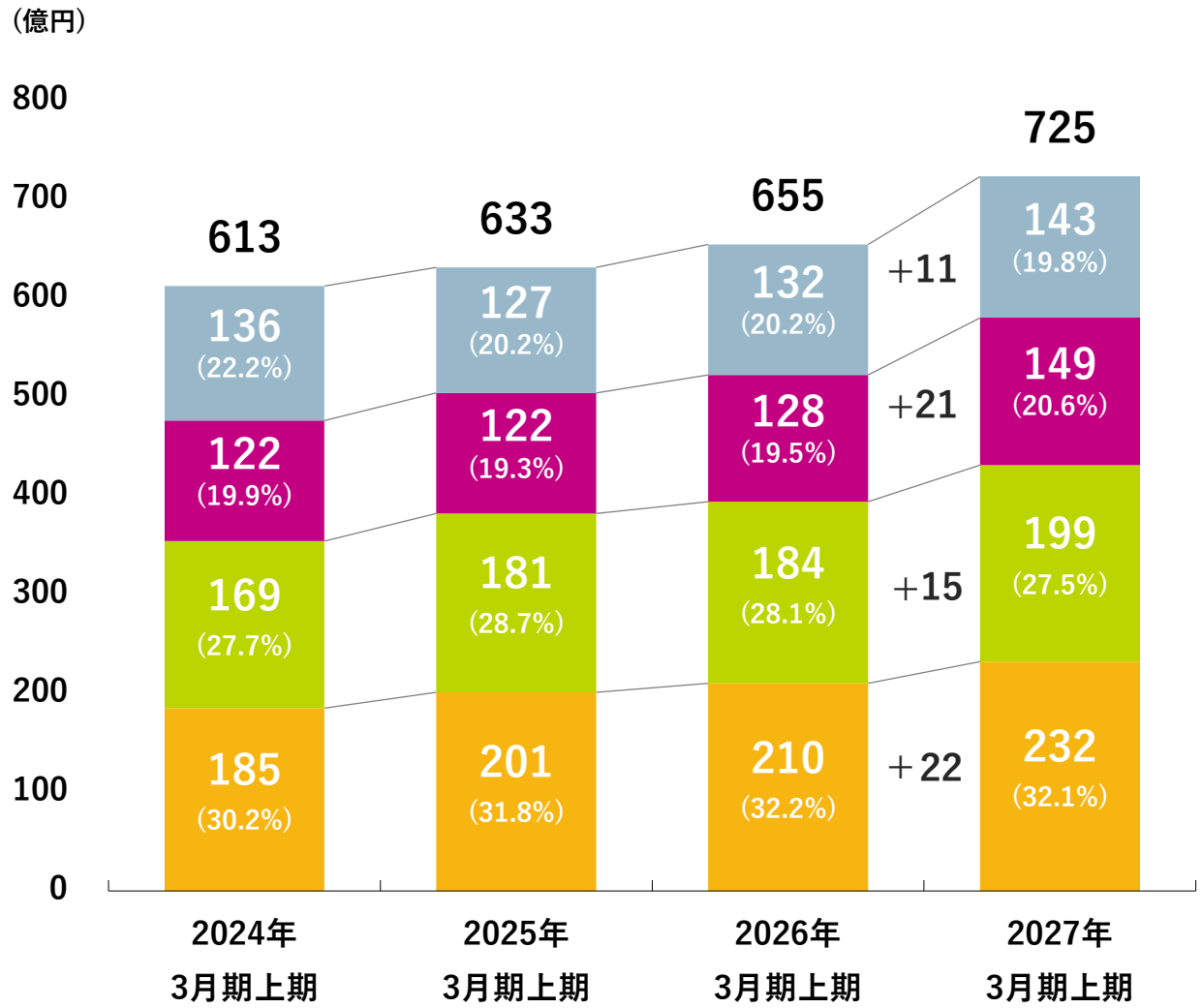
(期初予想)

■ 6期連続で上期売上高および各段階利益が過去最高を更新

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

セグメント別売上高推移

2027年3月期上期 売上高　725億円　　**前年同期比69億円増（10.6%増）**



BUILDING & CONSTRUCTION
Building & Construction
住宅、ビル、建築資材、土木市場等

ELECTRONICS
Electronics
エネルギー、情報通信、IT機器市場等

DAILY LIFE & HEALTHCARE
Daily Life & Healthcare
医療、生活資材、食品包材市場等

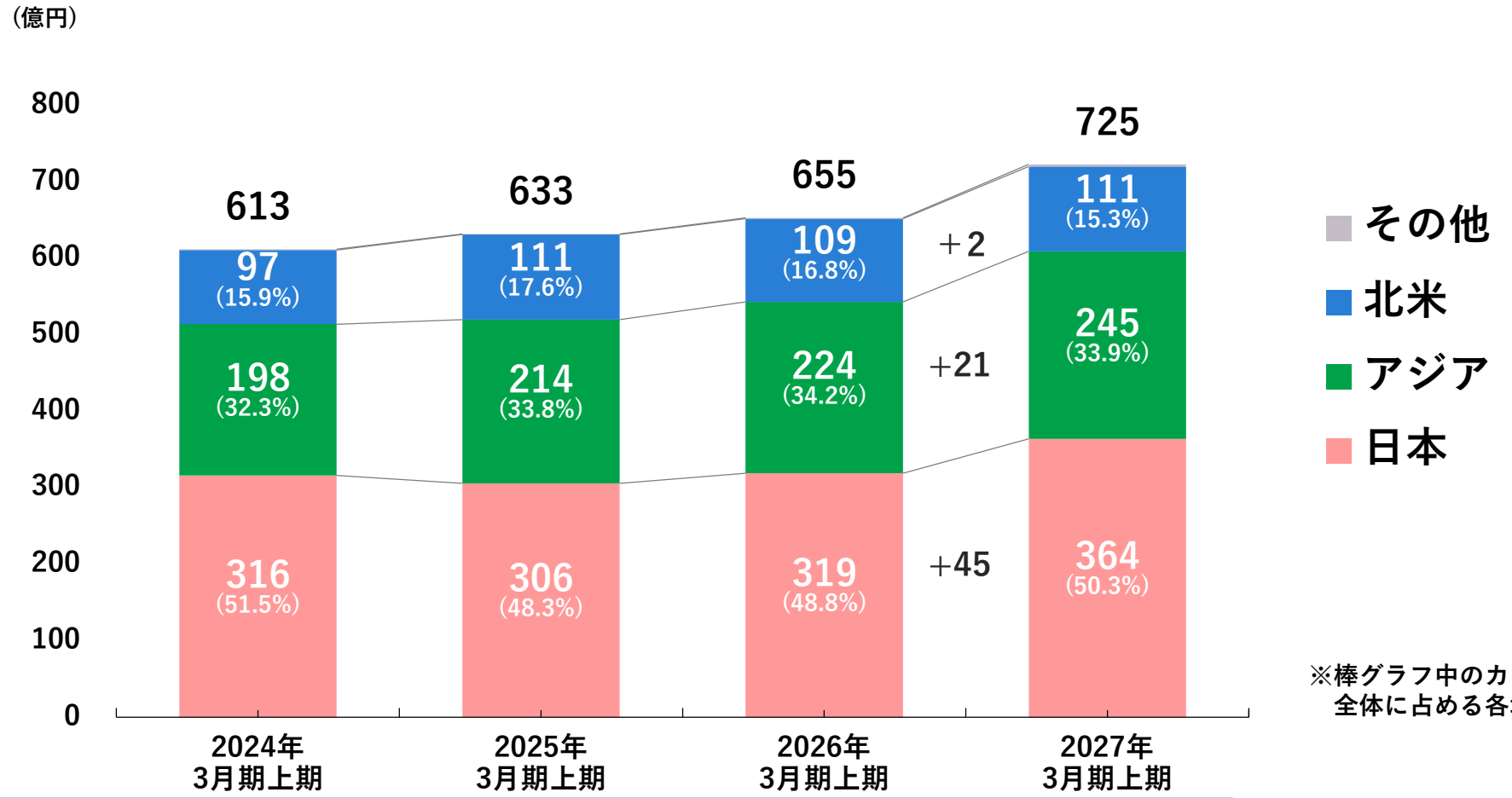
TRANSPORTATION
Transportation
自動車、鉄道、船舶市場等

※棒グラフ中のカッコ内%表示は
全体に占める各セグメントの割合

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

地域別売上高推移

2027年3月期上期 売上高　725億円　　**前年同期比69億円増（10.6%増）**

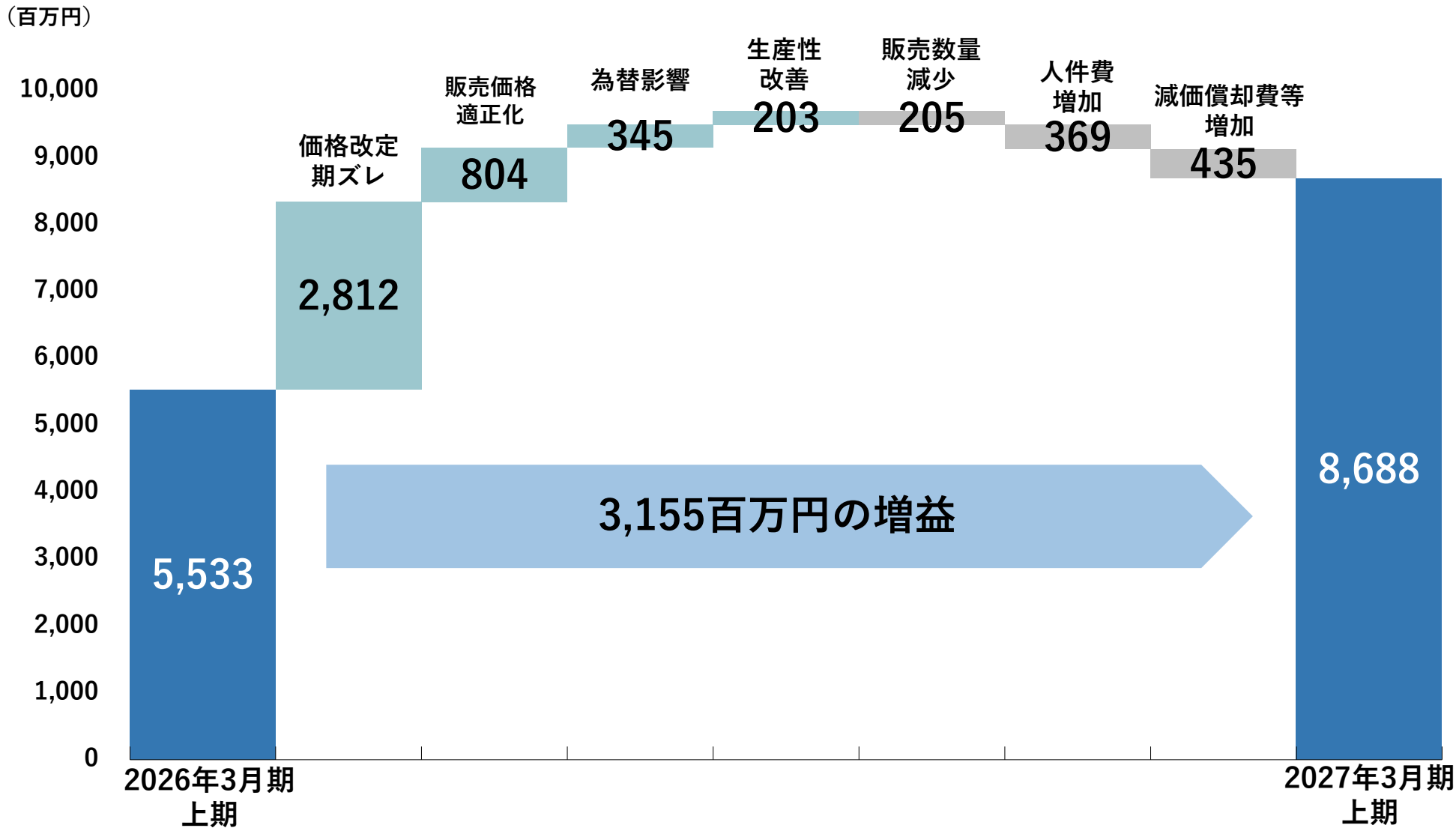


※棒グラフ中のカッコ内%表示は全体に占める各地域の割合

	2024年3月期上期	2025年3月期上期	2026年3月期上期	2027年3月期上期
海外売上高比率	48.5%	51.7%	51.2%	49.7%

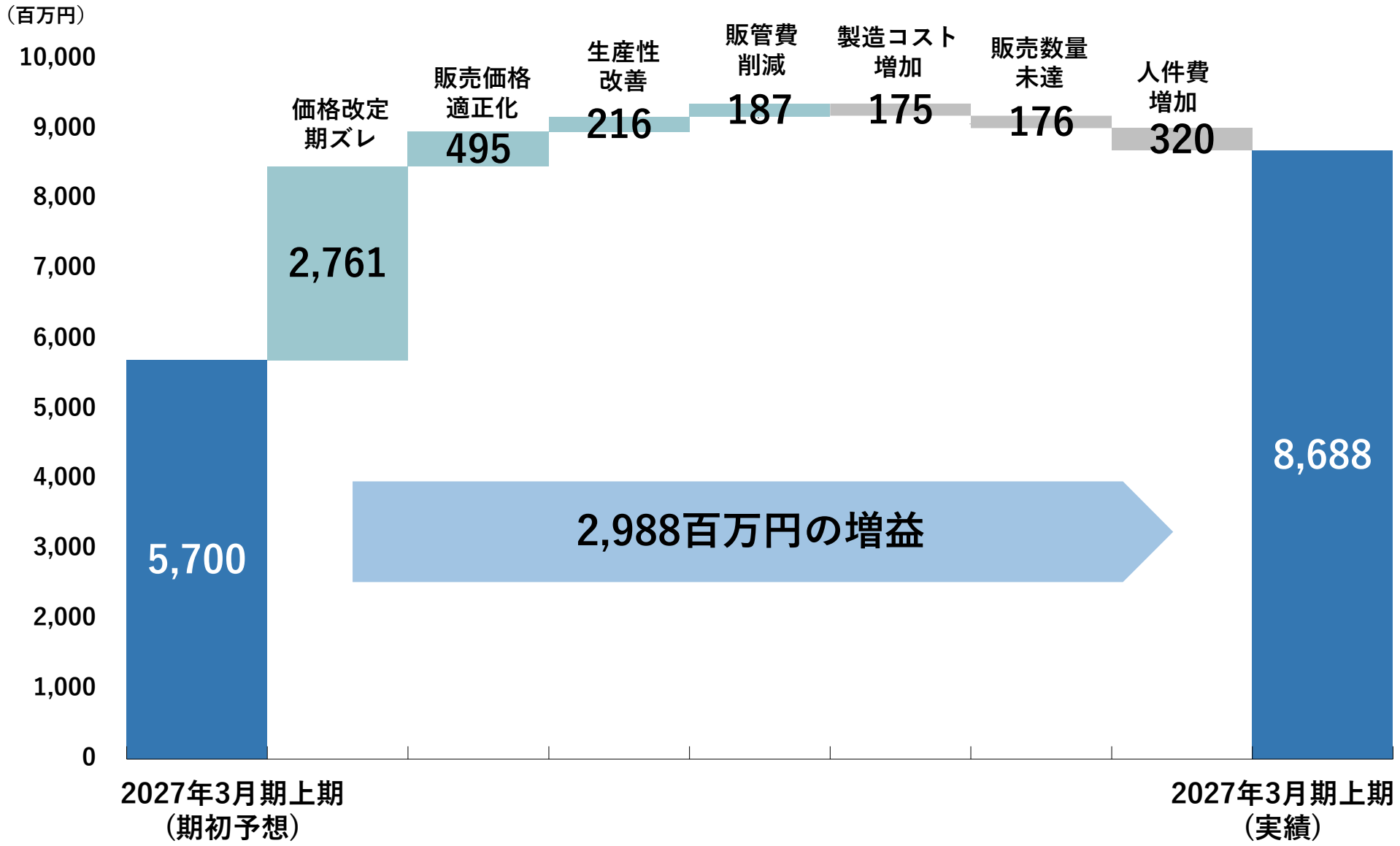
Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

営業利益　前期比増減要因分析



Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

営業利益　予想比増減要因分析



Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	2026年3月末	2026年9月末	増減		2026年3月末	2026年9月末	増減
流動資産	74,257	79,730	5,473	負債	40,661	47,325	6,664
現金及び預金	26,552	24,439	▲2,113	流動負債	32,485	39,105	6,620
売上債権	26,274	29,633	3,359	固定負債	8,176	8,220	44
棚卸資産	20,339	24,138	3,799	純資産	78,442	76,416	▲2,026
その他	1,091	1,519	428	資本金	8,514	8,514	0
固定資産	44,846	44,010	▲836	資本剰余金	6,597	6,597	0
有形固定資産	30,509	31,326	817	利益剰余金	45,587	50,179	4,592
無形固定資産	2,420	2,269	▲151	その他有価証券評価差額金	5,173	4,156	▲1,017
投資有価証券	8,346	6,817	▲1,529	非支配株主持分	10,817	11,096	279
投資その他の資産	3,570	3,597	27	その他	1,754	▲4,126	▲5,880
資産合計	119,103	123,741	4,638	負債純資産合計	119,103	123,741	4,638

- 政策保有株式の売却により投資有価証券簿価は減少
- 有利子負債は12,226百万円

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	2026年3月期 上期	2027年3月期 上期	増減
a.営業活動によるキャッシュ・フロー	7,071	7,582	511
b.投資活動によるキャッシュ・フロー	▲306	▲1,320	▲1,014
有形固定資産の取得	▲2,497	▲2,769	▲272
有形固定資産の売却収入	1,894	18	▲1,876
無形固定資産の取得	▲55	▲30	25
投資有価証券の売却収入	298	1,482	1,184
その他	53	▲20	▲73
c.フリー・キャッシュ・フロー（a+b）	6,765	6,262	▲503
d.財務活動によるキャッシュ・フロー	▲4,748	▲8,596	▲3,848
自己株式の取得	▲2,417	▲6,454	▲4,037
配当金の支払額	▲1,400	▲1,638	▲238
その他	▲931	▲504	427
e.現金及び現金同等物に係る換算差額	▲634	220	854
現金及び現金同等物の増減額（c+d+e）	1,382	▲2,113	▲3,495
現金及び現金同等物の期末残高	25,829	24,414	▲1,415

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

2027年3月期　連結業績予想

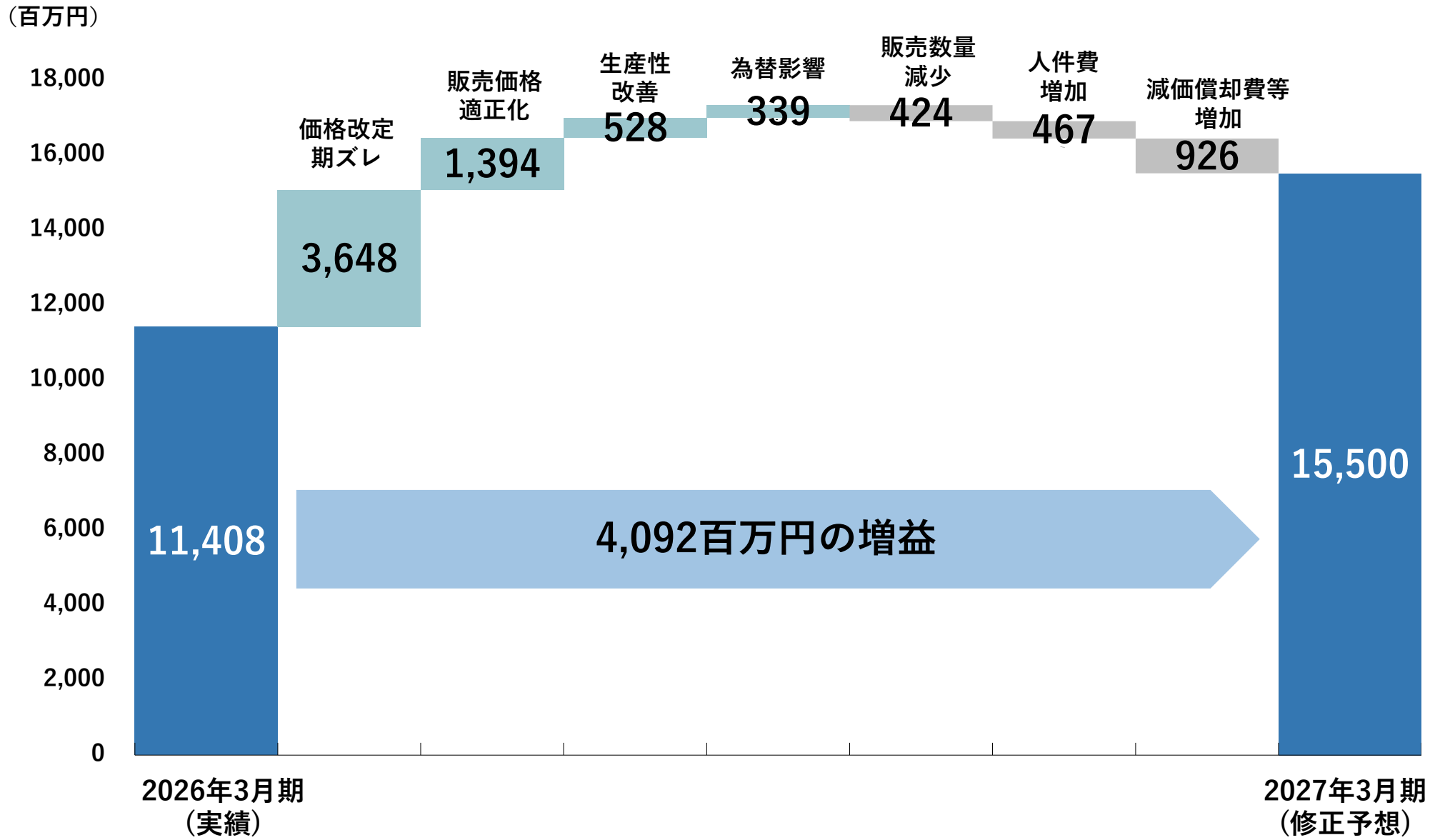
（単位：百万円）

	2026年3月期 実績	2027年3月期 期初予想	2027年3月期 修正業績予想	従来予想比		前期比	
				差額	伸び率	差額	伸び率
売上高	131,377	142,000	145,500	3,500	2.5%	14,123	10.7%
営業利益	11,408	12,000	15,500	3,500	29.2%	4,092	35.9%
経常利益	11,786	12,000	15,400	3,400	28.3%	3,614	30.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,569	6,800	10,000	3,200	47.1%	2,431	32.1%
1株当たり当期純利益(円)	153.72	142.89	221.04	78.15	54.7%	67.32	43.8%
ROS(%)	8.7	8.5	10.7	2.2	-	2.0	-
ROE(%)	11.4	9.8	15.4	5.6	-	4.0	-
ROIC(%)	11.7	11.8	16.2	4.4	-	4.5	-
EBITDA	15,676	16,900	20,400	3,500	20.7%	4,724	30.1%
平均為替レート(円/USD)	150.42	158.00	158.00	0.00	-	7.58	-

■ 6期連続で売上高および各段階利益が過去最高を更新する見込み

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

2027年3月期(予想)営業利益　増減要因分析



Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

2027年3月期 上期決算説明

SECTION

01 2027年3月期 上期決算概要

02 セグメント別概況

03 中長期的取り組み

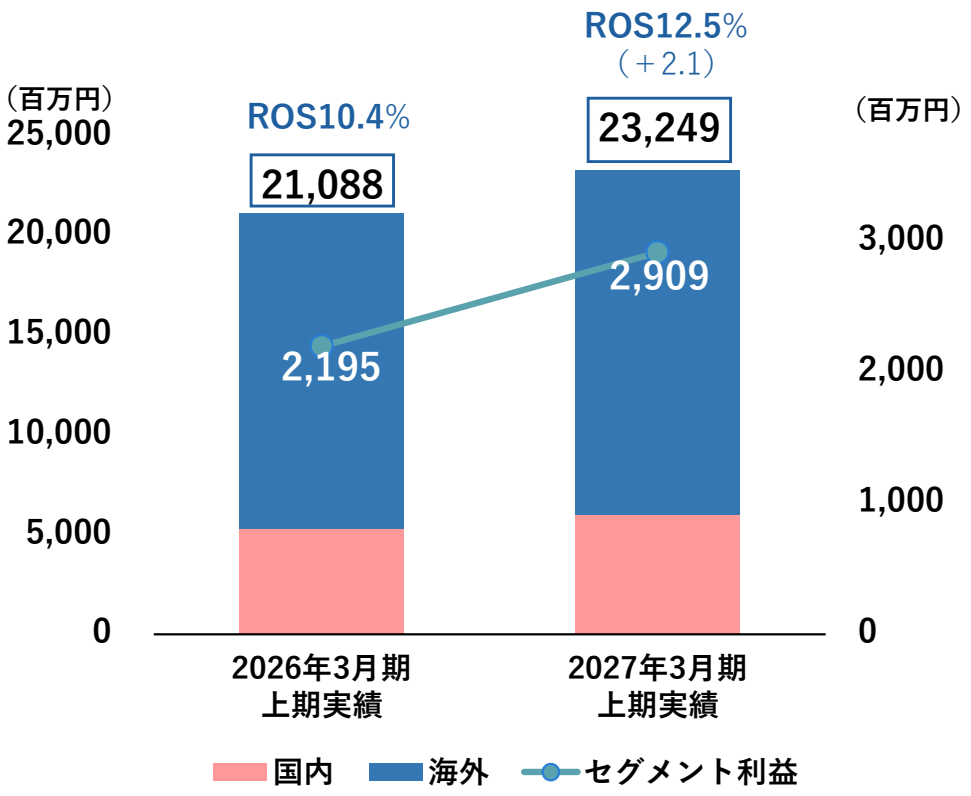
Transportation



Transportation

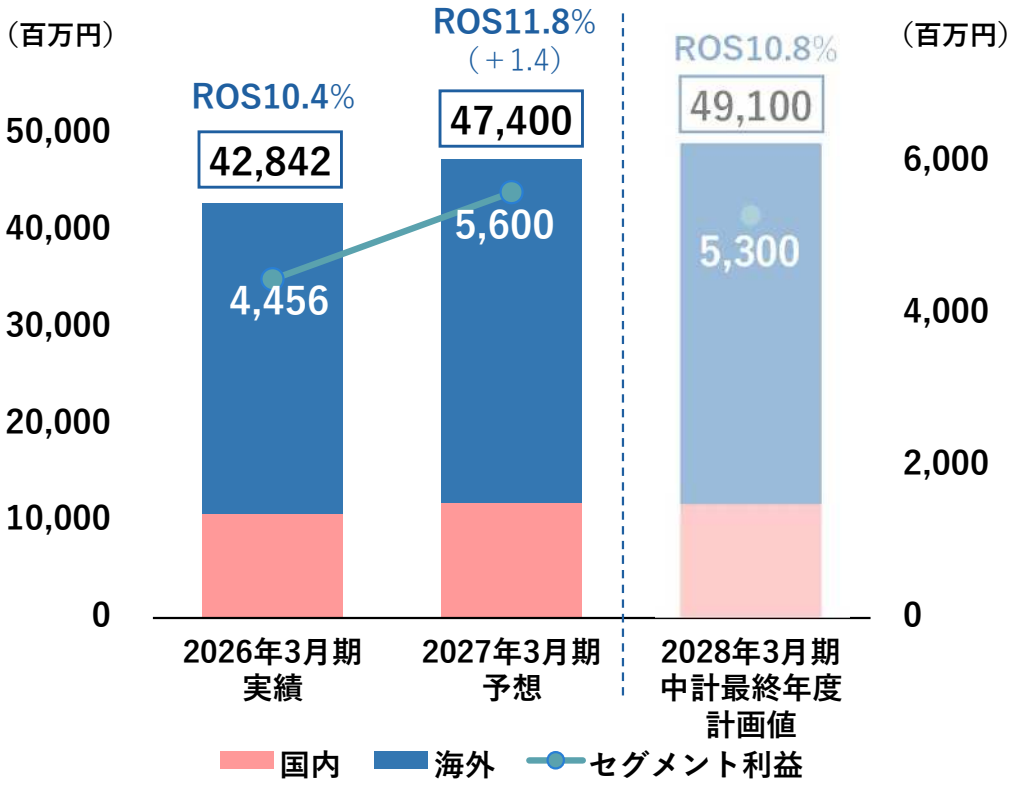
TRANSPORTATION

2027年3月期 上期実績	2,161百万円増収（＋10.2%） 714百万円増益（＋32.5%）



- 国内では、中国向け輸出減少によりコンパウンドの販売が減少するも、高騰した原材料の価格転嫁が進み、増収
- 海外では、ASEAN拠点でのコンパウンドの販売が増加し、増収
- セグメント利益は、主に海外でのコンパウンドの販売増加により、増益

2027年3月期 通期予想	4,558百万円増収（＋10.6%） 1,144百万円増益（＋25.6%）



- 国内では、中国向け輸出減少によりコンパウンドの販売が減少するも、高騰した原材料の価格転嫁が進み、増収
- 海外では、ASEAN拠点でのコンパウンドの販売が増加し、増収
- セグメント利益は、主に海外でのコンパウンドの販売増加により、増益

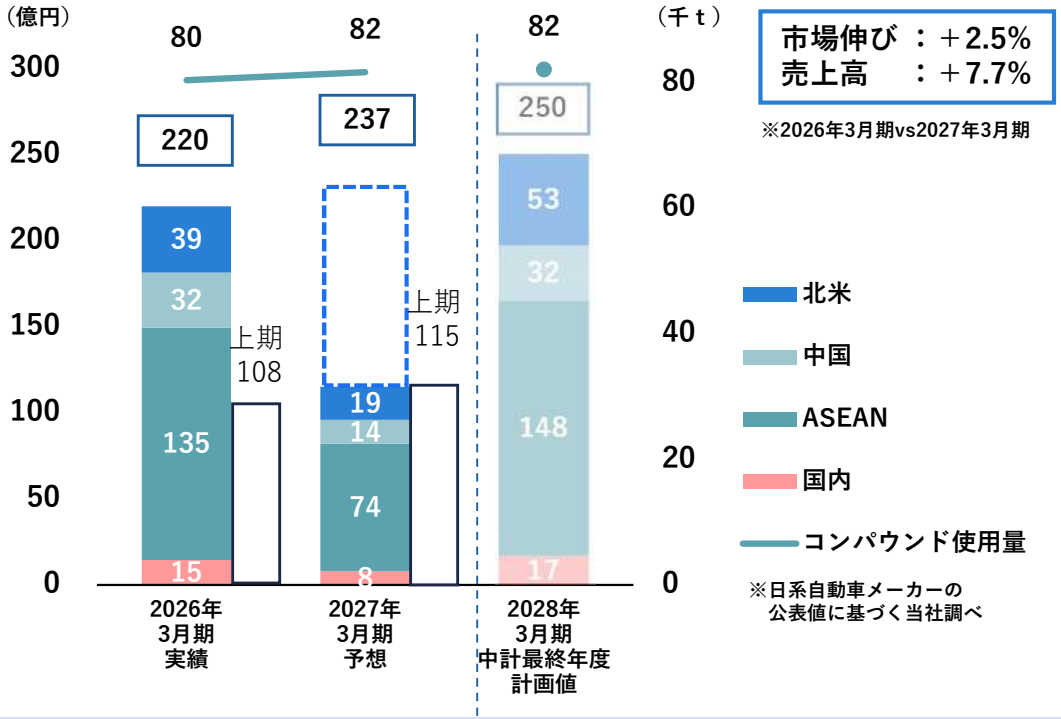
Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

Transportation

TRANSPORTATION

重点分野①　車両用電線

日系W/Hメーカーコンパウンド使用量と当社車両用電線向けコンパウンドおよびフィルムの売上高



2027年3月期　上期実績

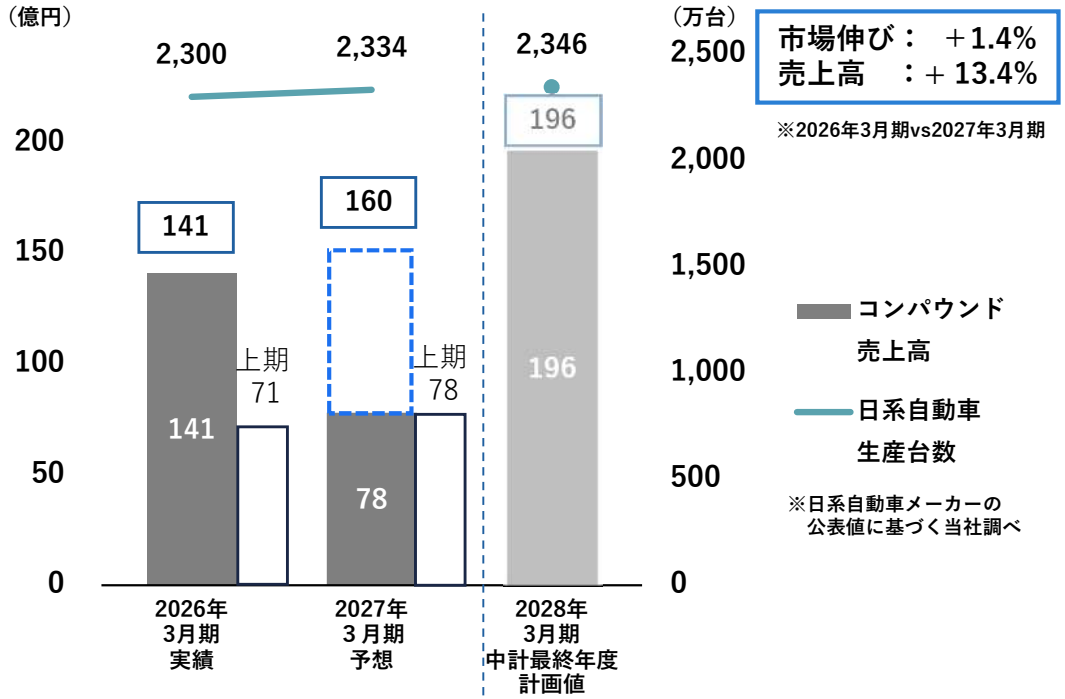
- 市場優位性のある薄肉電線コンパウンドの販売開始
- メキシコ・中国での価格競争に対し、コスト競争力のあるコンパウンドへの切替を推進

2027年3月期　下期施策

- 市場優位性のある薄肉電線コンパウンドの販売増加
- メキシコ・中国で競争力のあるコンパウンドへの切替を推進
- 高圧向け、新規バスバー向けコンパウンドを開発し、顧客承認獲得

重点分野②　自動車用成形部材

日系自動車生産台数と当社自動車用成形部材向けコンパウンド売上高



2027年3月期　上期実績

- 日系顧客向けシール材向けコンパウンドのASEANでの承認獲得、日本国内で新規案件の評価が進捗
- ゴム代替部品等の機能部品向けでコンパウンドの新規販売開始

2027年3月期　下期施策

- シール材向けコンパウンドの新規獲得とグローバル展開
- 市場で多数実績のあるモール材向けコンパウンドの新規顧客承認獲得
- ゴム代替等の素材転換の推進と機能性コンパウンドのグローバル展開

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

Daily Life & Healthcare

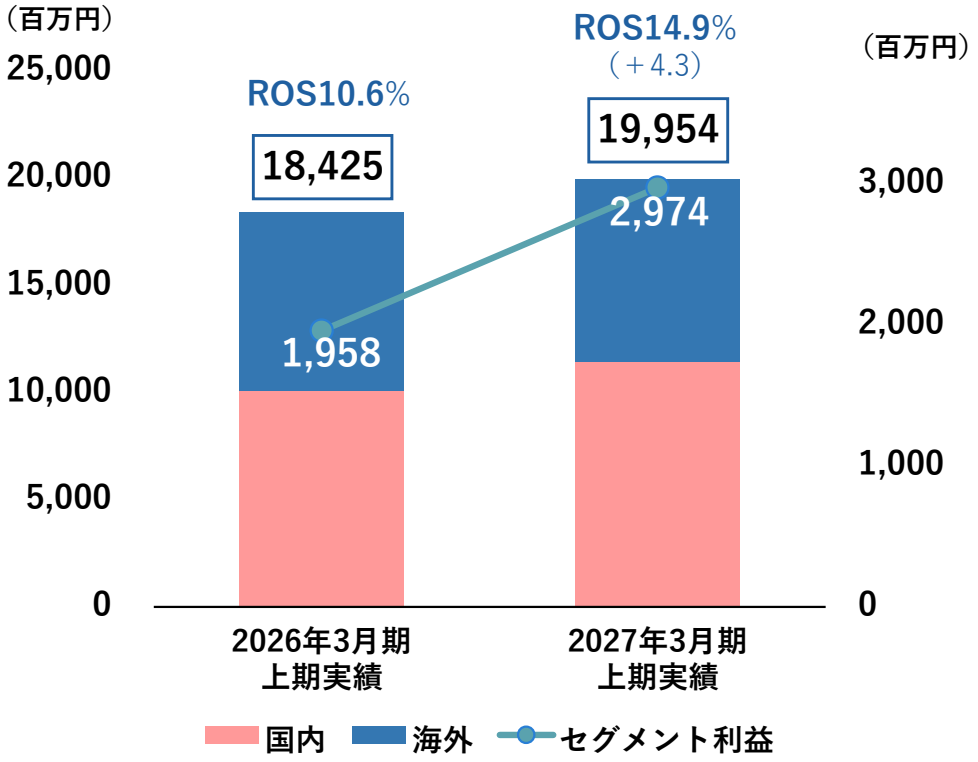


Daily Life & Healthcare

DAILY LIFE & HEALTHCARE

2027年3月期 上期実績

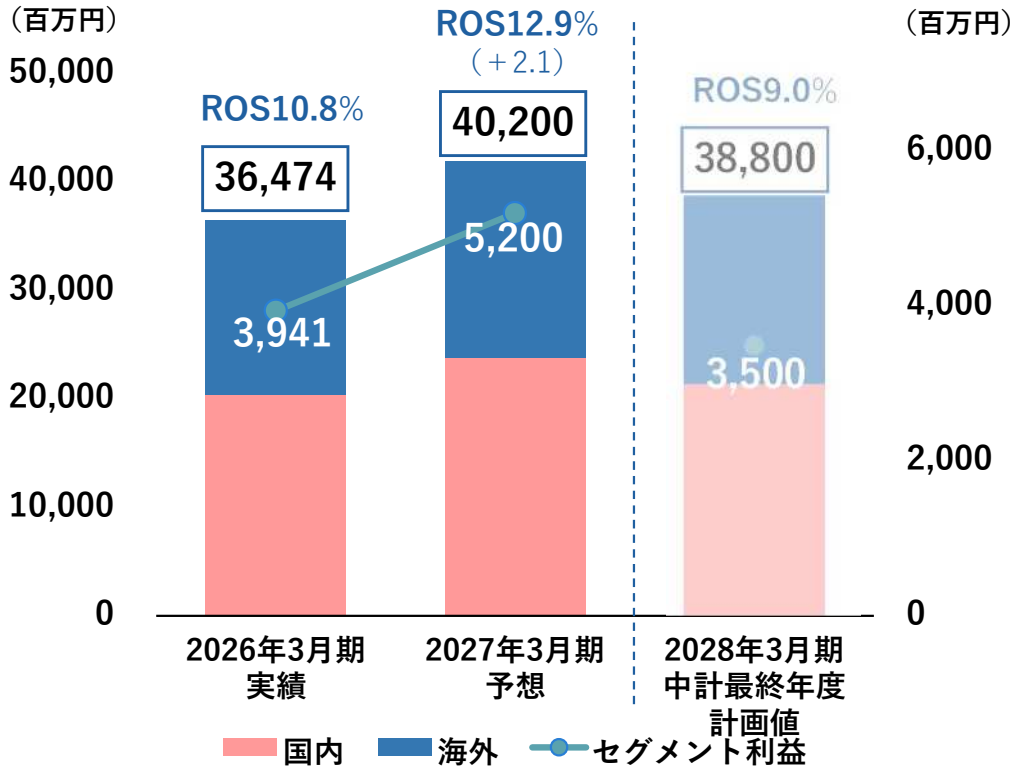
1,529百万円増収 （+8.3%）
1,016百万円増益（+51.9%）



- 国内では、食品包装用ラップの販売増加と、高騰した原材料の価格転嫁が進み、増収
- 海外では、高騰した原材料の価格転嫁が進み、増収
- セグメント利益は、食品包装用ラップの販売増加とコンパウンドの国内外での価格の適正化により、増益

2027年3月期 通期予想

3,726百万円増収（+10.2%）
1,259百万円増益（+31.9%）



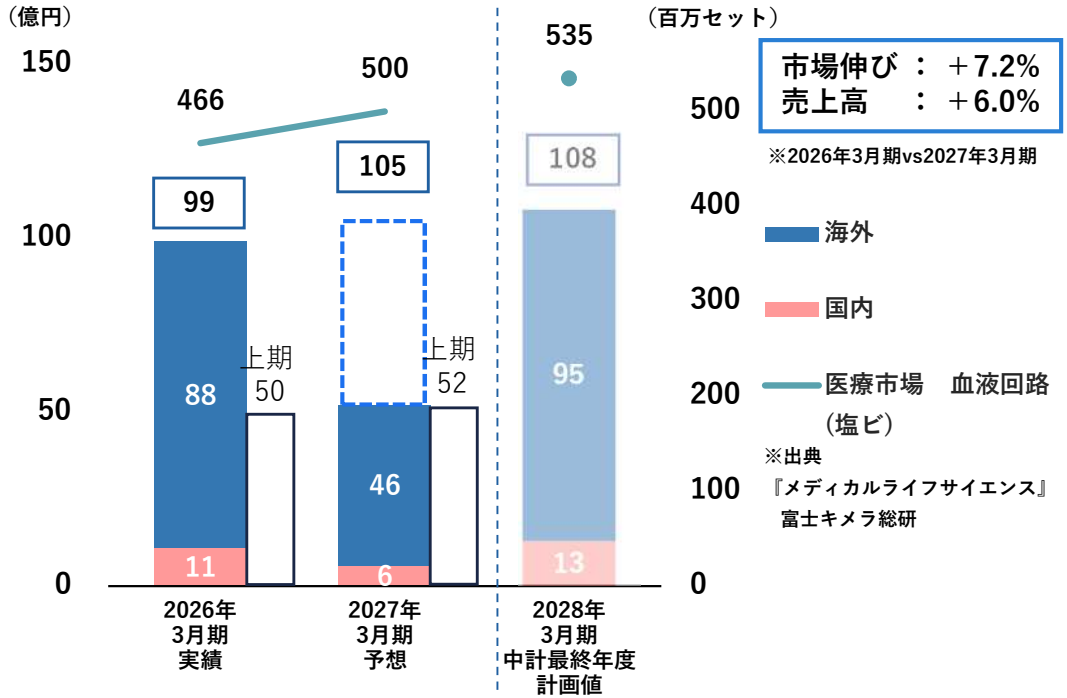
- 国内では、高騰した原材料の価格転嫁が進み、増収
- 海外では、高騰した原材料の価格転嫁が進み、増収
- セグメント利益は、価格適正化により、増益

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

Daily Life & Healthcare

重点分野① 医療用（血液回路・ｼﾝｸﾞﾙﾕｰｽ）

透析回路の販売数量と当社医療用コンパウンド売上高



2027年3月期 上期実績

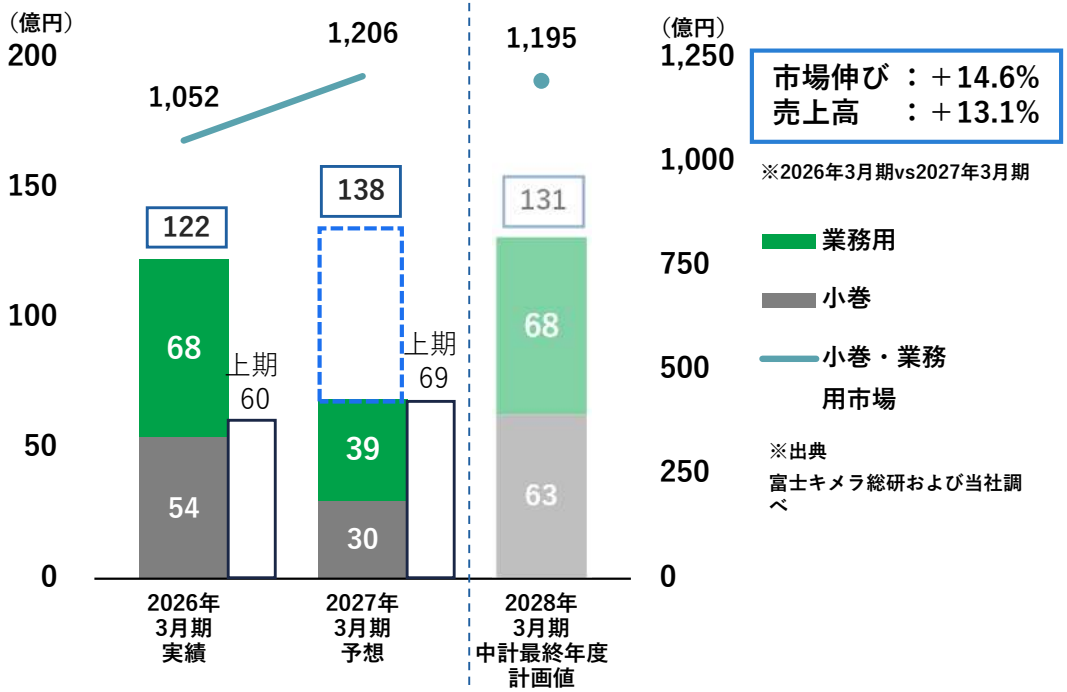
- 国内では、高騰した原材料の価格転嫁が進み、増収
- 海外では、高騰した原材料の価格転嫁が進み、増収

2027年3月期 下期施策

- 国内では、機能性エラストマーコンパウンドの顧客承認獲得
- 海外では、ASEANにおける日系顧客の拡販と新地域での顧客承認活動

重点分野② 食品包材(小巻・業務用ラップ)

国内小巻・業務用ラップ市場と国内小巻・業務用ラップ売上高



2027年3月期 上期実績

- 中東情勢に起因する消費者のまとめ買いによる販売数量の増加により、増収
- 高騰した原材料の価格転嫁が進み、増収

2027年3月期 下期施策

- 塩ビラップの特長および安心・安全・品質面での優位性の訴求を通じてブランド価値を向上させ、拡販
- 業務用の新製品を開発し、アウトパック市場へ参入し、拡販

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

Electronics

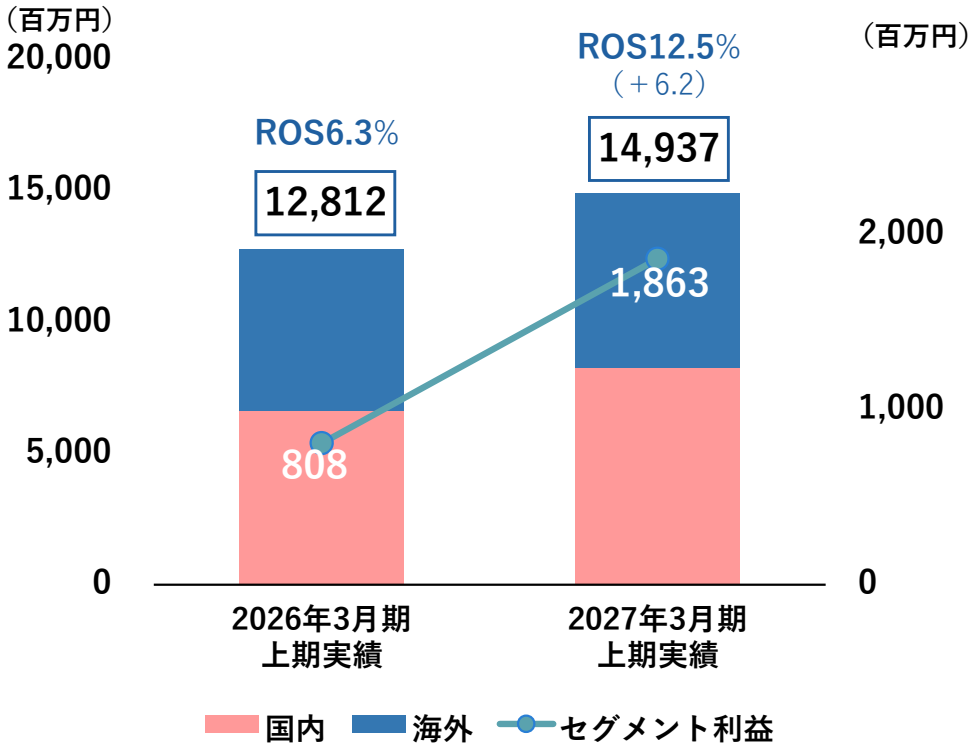


Electronics

ELECTRONICS

2027年3月期 上期実績

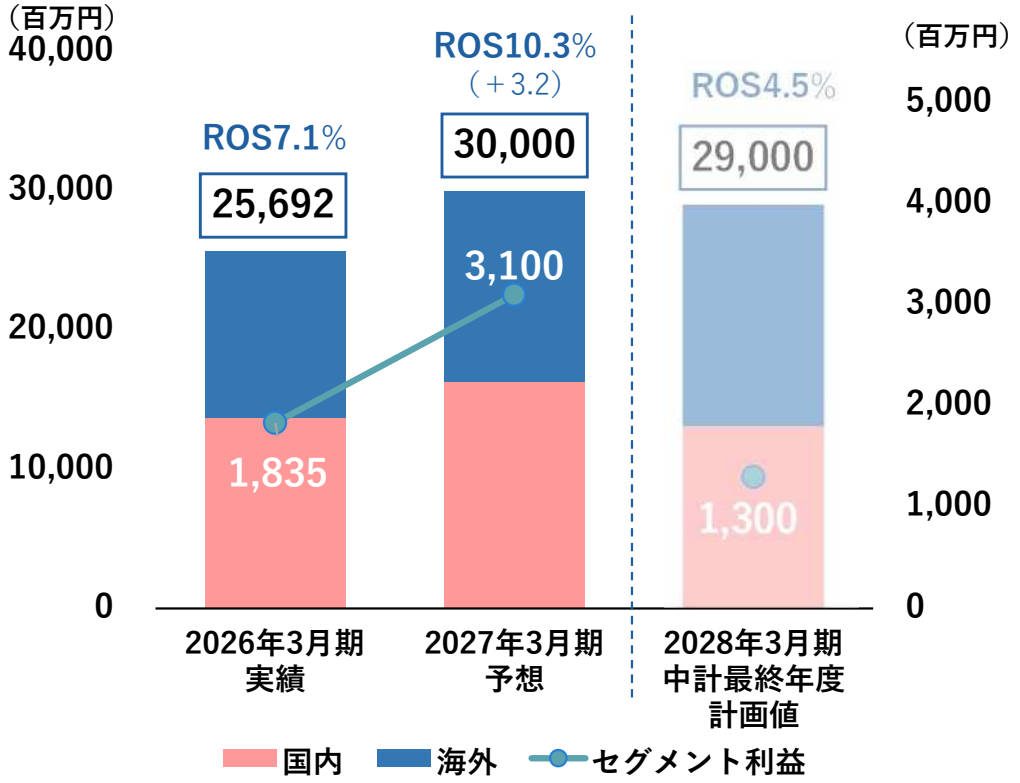
2,125百万円増収 （＋16.6%）
1,055百万円増益（＋130.5%）



- 国内では、電線市場向けコンパウンドの販売増加と高騰した原材料の価格転嫁が進み、増収
- 海外では、タイ国および中国での塩ビコンパウンドの販売が増加し、増収
- セグメント利益は、国内外でのコンパウンドの販売増加により、増益

2027年3月期 通期予想

4,308百万円増収 （+16.7%）
1,265百万円増益 （+68.9%）



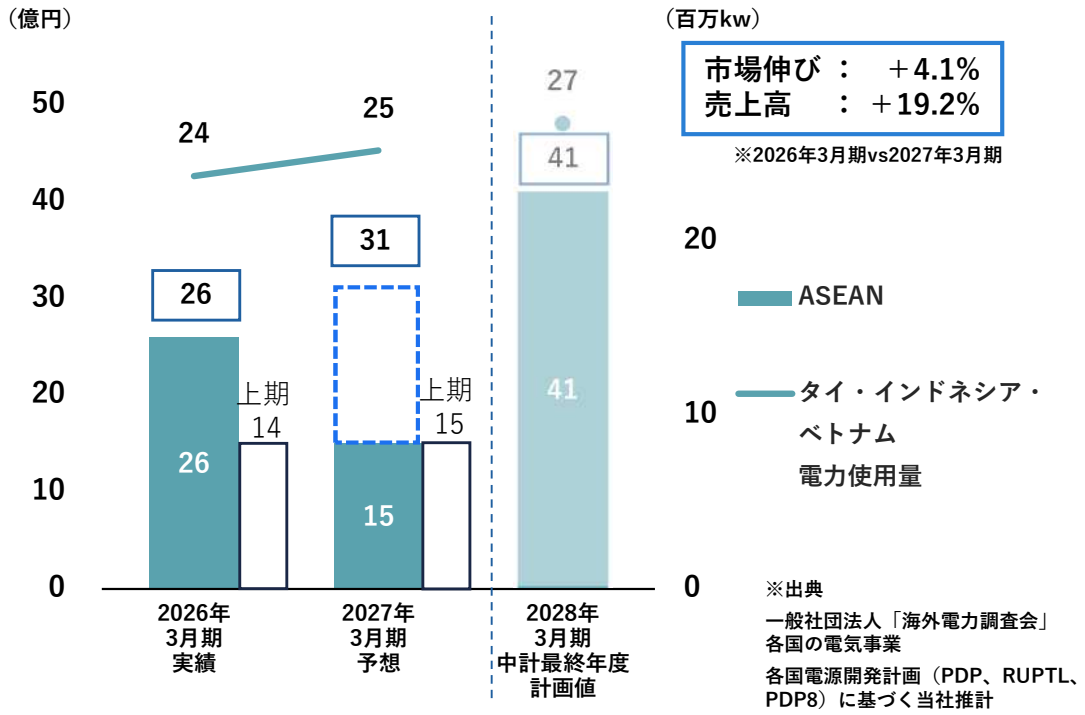
- 国内では、ロボット・FA、半導体市場向けコンパウンドの販売増加により、増収
- 海外では、タイ国および中国での塩ビコンパウンドの販売が増加し、増収
- セグメント利益は、国内外でのコンパウンドの販売増加により、増益

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

Electronics

重点分野①　電力・産業電線(ASEAN)

ASEAN電気使用量と当社塩ビコンパウンド売上高



2027年3月期　上期実績

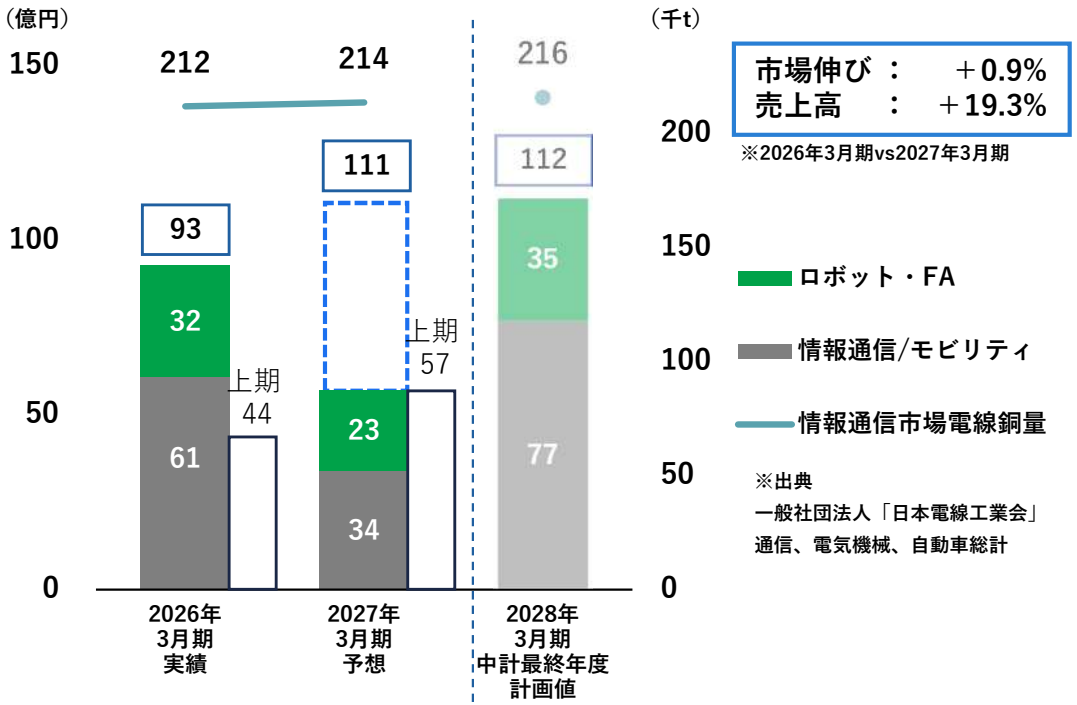
- インドネシア国向け販売が減少するも、タイ国における電力産業電線市場向けコンパウンドの非日系顧客向け拡販が進んだことにより、増収

2027年3月期　下期施策

- ASEAN市場向け電力産業電線用コンパウンドを拡販

重点分野②　情報通信/ﾓﾋﾞﾘﾃｨ/ﾛﾎﾞｯﾄ・FA

国内生産の情報通信市場向け電線銅量と当社コンパウンド売上高



2027年3月期　上期実績

- 国内では、データセンター向けおよびロボット･FA/半導体市場向けコンパウンドの販売が増加し、増収
- 海外では、中国、ベトナム国でのロボット･FA/機器電線市場向けコンパウンドの拡販により、増収

2027年3月期　下期施策

- 国内では、データセンター向けおよびロボット･FA/半導体市場向けコンパウンドの販売拡大
- 海外では、中国、ASEANでのロボット･FA/機器電線市場向け拡販

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

Building & Construction

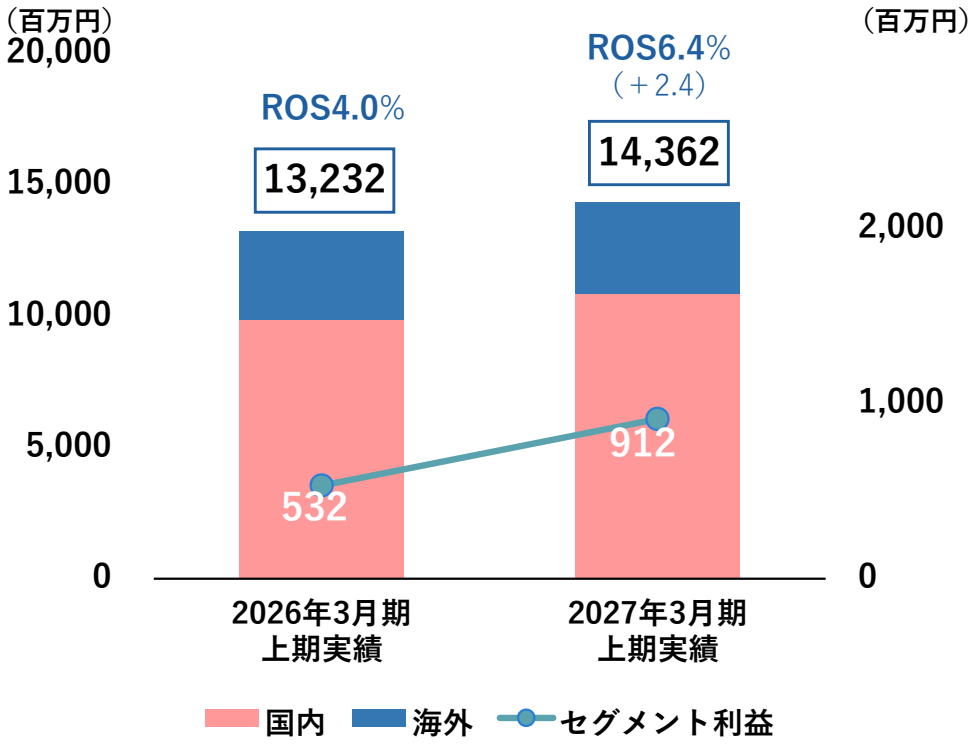


Building & Construction

BUILDING & CONSTRUCTION

2027年3月期 上期実績

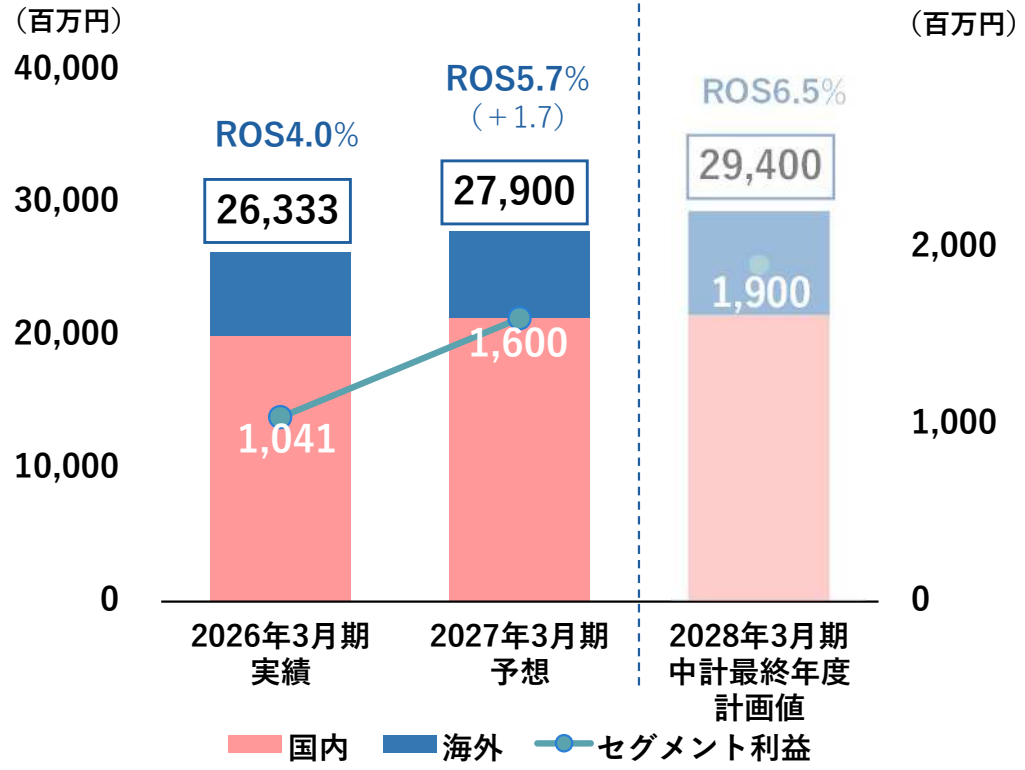
1,130百万円増収 （+8.5%）
380百万円増益 （+71.4%）



- 国内では、コンパウンドの販売増加と、高騰した原材料の価格転嫁が進み、増収
- 海外では、高騰した原材料の価格転嫁が進み、増収
- セグメント利益は、国内でのコンパウンドの販売増加と、価格適正化により、増益

2027年3月期 通期予想

1,567百万円増収 （+5.9%）
559百万円増益 （+53.7%）



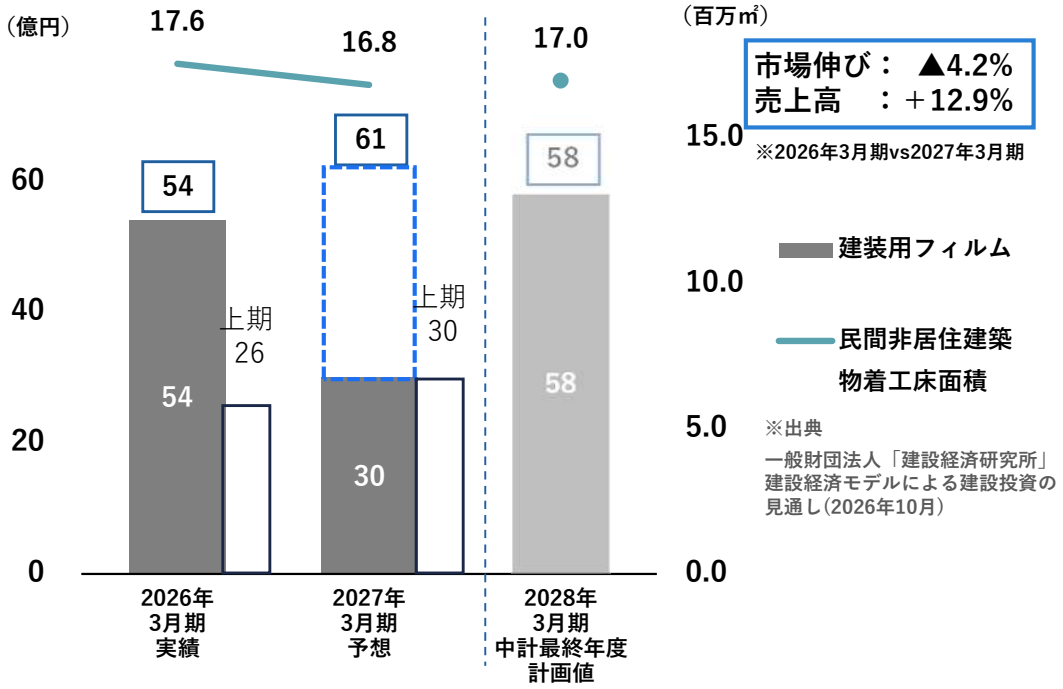
- 国内では、高騰した原材料の価格転嫁が進み、増収
- 海外では、高騰した原材料の価格転嫁が進み、増収
- セグメント利益は、価格適正化により、増益

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

Building & Construction

重点分野① 建装用フィルム

国内民間非居住建築物着工床面積(使途別、倉庫・工場を除く)と
当社建装用フィルム売上高



2027年3月期 上期実績

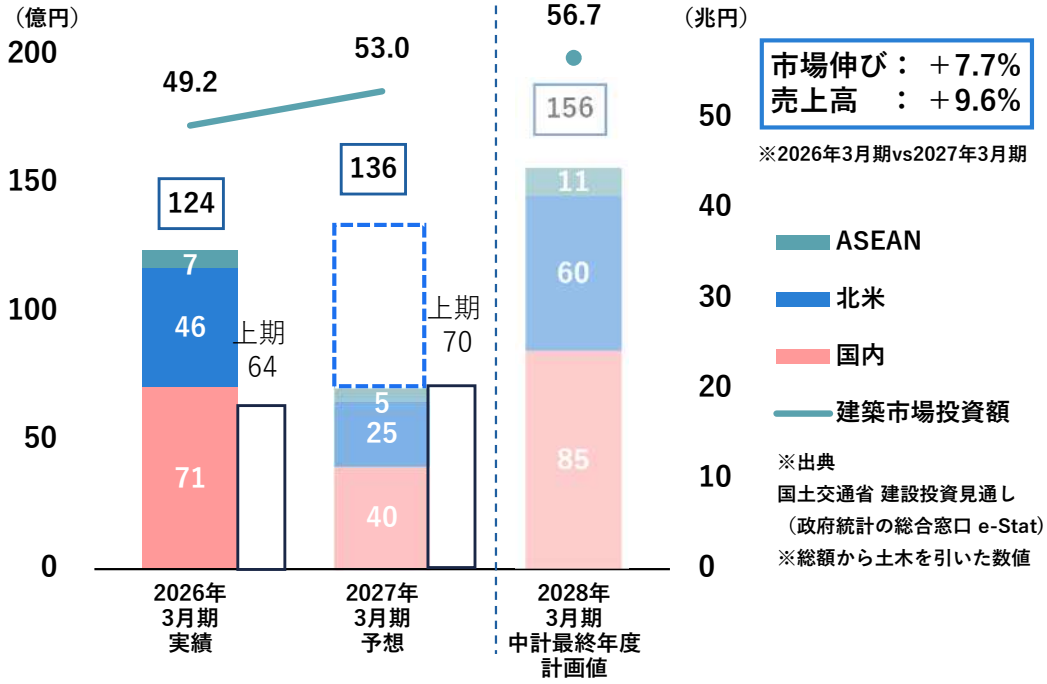
- 壁装用フィルムのデザイン改定需要による販売増加
- 高騰した原材料の価格転嫁が進み、増収

2027年3月期 下期施策

- 住宅・商業施設向け建装用フィルムの拡販
- 壁装フィルムのデザイン改定による新規採用品の販売拡大

重点分野② 住宅・建築資材

国内建設市場投資額と当社住宅・建築資材向けコンパウンド売上高



2027年3月期 上期実績

- 国内では、高騰した原材料価格の価格転嫁が進み、増収
- 海外では、高騰した原材料価格の価格転嫁が進むも、北米での販売が減少し、横ばい

2027年3月期 下期施策

- 国内では、住宅用エラストマーコンパウンドの拡販と生産性の改善および価格適正化
- 海外では、タイ国でのローカル顧客向け塩ビコンパウンドの拡販

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

2027年3月期 上期決算説明

SECTION

01 2027年3月期 決算概要

02 セグメント別概況

03 中長期的取り組み

3ヵ年中期経営計画

経営方針

One Vision,
New Stage 2027

3ヵ年中期経営計画　One Vision, New Stage 2027

成長/稼ぐ力

- 戦略1　Global One Company
- 戦略2　顧客の期待の先を行く
- 戦略3　新規事業/新製品への挑戦
- 設備/DX/研究開発投資
- 人的資本投資
- 事業ポートフォリオ

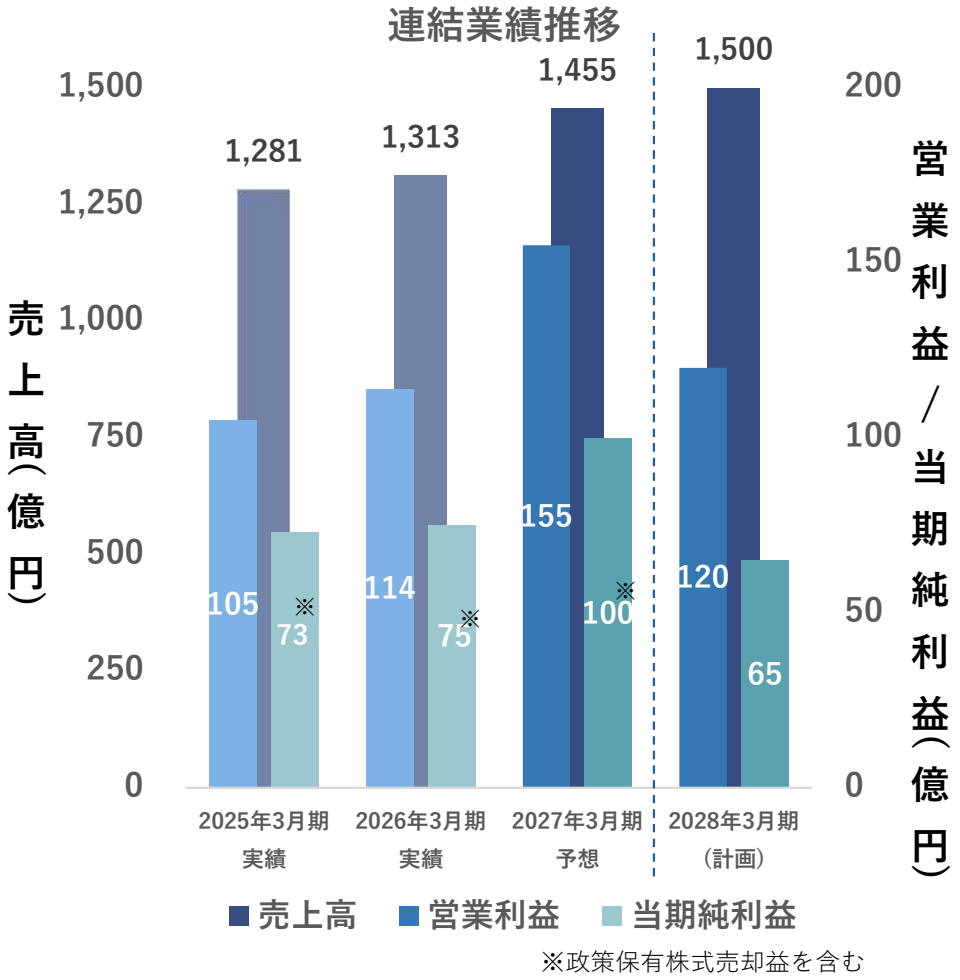
永続/サステナビリティ

- サステナビリティ
- ガバナンス
- リスクマネジメント

ステークホルダーコミュニケーション

資本コスト低減への取り組み

財務戦略



※政策保有株式売却益を含む

3ヵ年中期経営計画
前提条件
ナフサ価格：70,000円
為替：140円/USD

2028年3月期 計画
ROS　：　8.0%
ROE　：10.0%
ROIC　：11.0%
EBITDA：　170億円

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

3ヵ年中期経営計画 「稼ぐ力」の戦略(2027年3月期上期実績)

戦略① Global One Company

・グローバル横串運営の更なる進展

・会社単位運営からグローバル一体経営の進展

- グローバル最適生産体制の具体化
  - －食品包材設備増強プロジェクトが進捗
    - ・小巻ラップの加工設備の導入・稼働開始
    - ・成膜工程に関わる設備を導入予定
  - －国内生産拠点再編
    - ・三重工場隣接地取得(土地面積1.5倍に拡大)、造成工事開始
    - ・群馬工場の閉鎖を決定（埼玉工場に製品移管）
  - －ベトナム連結子会社の生産設備増強決定



RIKEN VIETNAM CO., LTD.

- グローバル品質・製造ガバナンスの強化
  - －グローバル工場監査体制を構築
- ASEANにおける非日系顧客への販売拡大

戦略② 顧客の期待の先を行く

顧客の期待の先を行き、自ら仕掛けていく組織・人材への転換を図る

- 供給課題への迅速な対応で顧客の安定操業に貢献
  - －技術・製造・品質・購買を一体化した体制を活かし、代替原材料の評価・採用・量産化を迅速に実施
- 新規原材料探索と原材料メーカーとの共創型開発の深化（＝攻めの購買）
- 顧客との技術交流会を通じた共同開発テーマの発掘
- 生成AIをデータ分析に活用した品質不具合の未然防止活動を強化

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

3ヵ年中期経営計画 「稼ぐ力」の戦略(2027年3月期上期実績)

戦略③ 新規事業/新製品への挑戦

新しい製品を世の中に送り出す
＝マーケットに対して先駆者となる

- 新規製品の売上高比率向上

2026年3月期（実績）	2027年3月期（中間）	2028年3月期（目標）
15%	17%	23%

- ものづくり検討委員会および新規製品会議を通じた情報共有による開発プロセスの円滑化
- 当社保有技術をベースに知的財産部から開発部へ深堀提案
- 産学/産産連携テーマの事業化に向け具体化
  ➡ 脱塩素、油化技術が実証フェーズへ移行

➢ 新製品開発の取組

コンパウンド

➢データセンター向け難燃材料

- データセンター向け主用途である電線被覆材料の開発
- 狭小スペースでの電線設置に対する柔軟性
- 薄肉化に対応した難燃特性



➢ 車両用ゴムホース代替エラストマー材料

- 冷媒・ヒーターなど温度コントロール機構周辺のエラストマー化
- 軽量化・柔軟性・構造の簡素化をねらい、材料からホース構造の最適化を検討

フィルム

➢エクステリア加飾フィルム

- 「高耐候PVC」を強みに優れた意匠性を実現
- 塗装代替として工程削減、環境対応を同時に実現



Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

研究開発/知的財産投資

➢ 研究開発/知的財産投資　～オープンイノベーションの取り組み～

㈱アシスト・㈱ケーシップ連携：
廃プラ油化プロジェクト 実証プラント

- 塩素含有廃プラスチックを原料とする脱塩素・油化技術を実証
- パイロットスケールでの検証を通じ、事業化に向けた条件を具体化



新居浜高専連携：
水環境浄化・PFAS対策

- 酸化鉄光触媒による難分解性有機物、PFAS分解技術を実証
- 実環境水中での分解、触媒回収を検証、水処理モジュール化に向けた情報収集開始

理研・㈱サーマス連携：
微生物コンポジット材料

- 有用微生物を生分解性プラスチックに内包する機能性材料を開発
- 微生物を徐放、海洋、湖沼、土壌の環境改善に向けた実証試験開始

早稲田大学・㈱ミダックHD連携：
浸出水由来炭カル応用

- 浸出水由来炭酸カルシウムを樹脂フィラーとして資源化
- ガス吸着性能を活かした高機能材料への展開を検討



共同研究成果の「新規特許出願」・「用途検討・具体化」へ

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

財務戦略 －価値創造するバランスシートへの改革－

➢ 価値創造に貢献しないAsset、必要以上の株主資本を持たない効率的なB/Sに向けた改革

2027年3月期　上期実績

現預金　**戦略投資/株主還元等に活用し、減少**

▲21億円 (2026年3月期比▲7.9%)

売掛金　**販売増加により、増加**

＋33億円 (2026年3月期比＋12.5%)

在庫　**事業環境を踏まえた在庫積み増し・原材料価格の上昇により、増加**

＋38億円 (2026年3月期比＋18.7%)

土地建物・機械・無形固定資産

減価償却が進むも、食品包材事業等への投資により、増加

＋7億円(2026年3月期比＋2.1%)

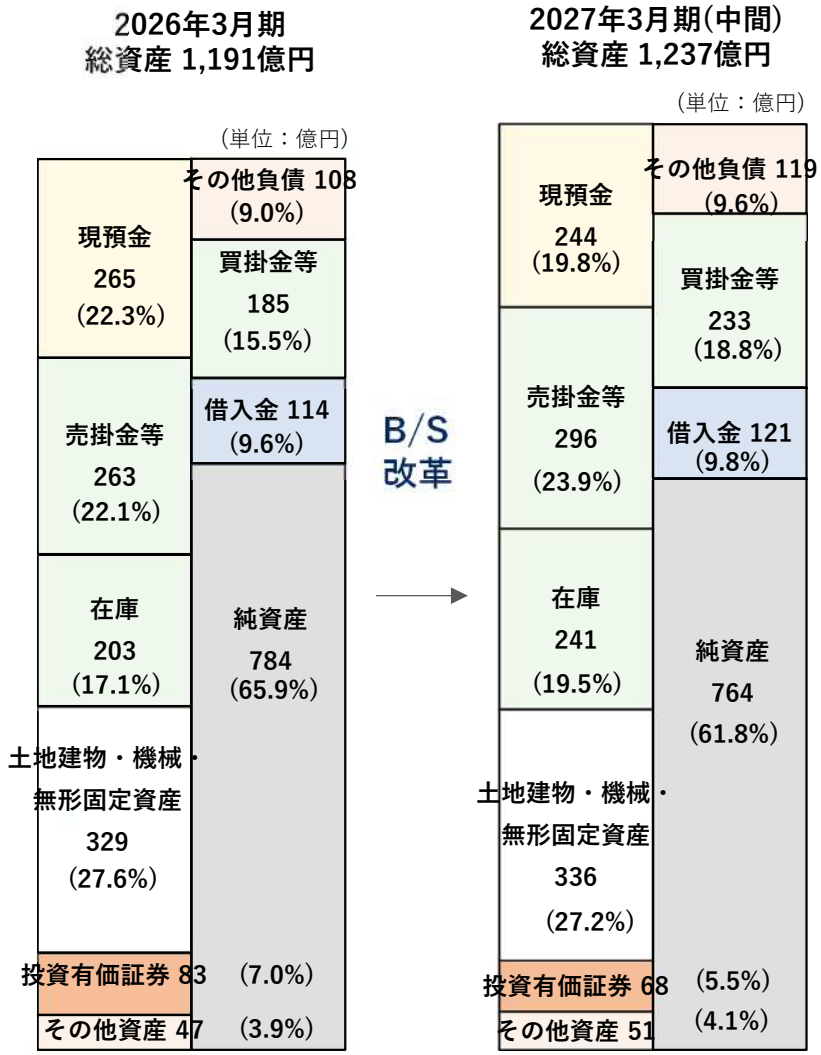
投資有価証券

政策保有株売却により、減少

▲15億円/6社　※投資有価証券の純資産に対する割合10.6%→8.9%

純資産　**自社株買い実施（上期約64億円）により、減少**

▲20億円(2026年3月期比▲2.5%)



Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

投資/財務戦略

➢営業キャッシュフローとバランスシート改革で捻出した資金を成長/戦略投資、株主還元等に活用

中計３年間のキャッシュフロー

Cash In 560億円	Cash Out 560億円
営業 キャッシュフロー 300億円	基盤投資 110億円
	成長投資/研究開発費 250億円
BS改革 260億円	戦略投資/株主還元 200億円

注) 営業キャッシュフロー　：CCC改善分を除く、研究開発費控除前、非支配株主配当控除後
BS改革　：現預金圧縮、CCC改善、政策保有株圧縮、借入金調達
成長投資　：能力増強、省力化/省人化投資等
戦略投資　：M&A、新規事業、気候変動対応等

成長投資・戦略投資・株主還元の実施

ベトナム連結子会社の生産設備増強（RIKEN VIETNAM CO., LTD.）

年間生産能力は、約1.3 倍に拡大

✓ 2028年夏に稼働開始予定
✓ 投資総額：約10億円



食品包装用ラップ生産設備増設（埼玉工場・三重工場）

小巻ラップの加工設備の導入および稼働開始

✓ 成膜工程に関わる設備を導入予定
✓ 投資総額：約40億円



隣接地取得による工場拡張計画（三重工場）

工場建設予定地の造成に着手

✓ 完成時期：2029年10月(予定)
✓ 投資総額：約90億円



株主還元(2027年3月期上期実績)

✓ 約80億円（自社株買い約64億円、配当約16億円）

実施済

・熱可塑性エラストマーコンパウンド生産設備増設 (三重工場)
・海外子会社での太陽光発電設備の導入（タイ・ベトナム）、等

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

人的資本投資

➢ 中期経営計画の達成に向け人材面においても、人材確保・育成における取り組みを推進

中期経営計画の戦略	1 Global One Company	2 顧客の期待の先を行く	3 新規事業／新製品への挑戦
戦略実行に必要な人材	海外で活躍できる/グローバル視点で経営のできる人材	顧客の期待の先を行く分析能力・戦略視点を持った人材	新規事業/新製品を生み出す多様な視点を持った人材
人材確保/育成手段	人材確保（採用）	人材育成	人材の最適配置

多様な人材が活躍できる企業風土の醸成・仕組みづくり・経営理念の浸透

人材確保/育成への取り組み

人材確保(採用)

実績 ● グローバル志向人材をターゲットとし、リクルーターと学生･学校･教授との密なコミュニケーション、1day仕事体験参加による当社理解促進等を通じ、着実に母集団を形成

今後の施策 ➢国内設備投資計画を見据え、工場生産活動維持･拡大に向けた採用活動を展開（技能職人材確保）

人材育成・配置

実績 ● キャリア開発･部下育成とアセスメント力強化への取り組み（人材育成の評価ウエイト引上げ）

今後の施策 ➢経営候補人材育成（他流試合型研修導入/課長･係長層の経営目線での議論）

➢海外現法ナショナルスタッフのグローバル経営人材育成プログラム導入

仕組みづくり(エンゲージメント向上策)

実績 ●管理職の成果･役割への責任に基づく職務分析の実施（報酬体系への評価反映）

今後の施策 ➢一般職層の処遇制度（評価・報酬体系）見直し

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

サステナビリティへの取り組み

サステナビリティ

実績

➢ 気候変動への対応

・ベトナム国製造子会社での太陽光発電設備稼働開始(2026年6月)

⇒総電気使用量に占める割合：約12%
CO_2排出量を年間約430トン削減見込み

※2026年6月～9月の稼働実績をもとに、年間の効果を試算

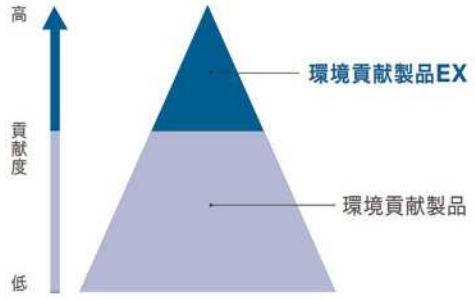


➢ 環境貢献製品の定義の明確化

・定義の明確化により、本業での環境貢献の訴求と拡販を推進

・特に優れた環境貢献性能を有する製品を「環境貢献製品EX」に認定※

※社内認定制度



環境貢献製品EXの例

・樹脂サッシ用塩ビコンパウンド

－アルミ製のサッシと比較し断熱性に優れ、冬季の熱損失や夏季の熱流入を抑制



・加硫ゴム代替の熱可塑性エラストマーコンパウンド

－成形工程における加硫工程が無いため、製造工程での使用電力量の削減

－自動車の車体軽量化につながり燃費向上に貢献

・自動車ウィンドウ用遮熱フィルムICE-μ®

－遮熱効果のあるフィルムを貼ることで車内の空調効率を高め、省エネや自動車の燃費向上に貢献



今後の施策

- ➢ 埼玉工場ボイラー燃料転換設備導入(2027年度2Q稼働予定)
- ➢ 環境貢献製品の開発・拡販
- ➢ 太陽光発電設備の増設
- ➢ TNFD対応（自然環境、生物多様性への影響評価開始）

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

サステナビリティへの取り組み／ステークホルダーコミュニケーション

ガバナンス

実績

- 監査等委員でない攻めの社外取締役の選任
- 連結子会社との連携強化策の取組進捗
  （グループ経営情報の共有/内部統制の実効性向上）
- 品質・製造ガバナンス体制の高度化推進
  （品質・製造情報の把握/エスカレーションルールの高度化等）
- 情報セキュリティの強化
  （24時間365日監視体制の運用開始）

今後の施策

- 改訂コーポレートガバナンス・コードへの対応
  （取締役会機能の更なる強化等）
- グループ共通の品質・製造ガバナンス体制の高度化・実効性向上（グローバルに品質・製造を管理・監督する仕組みの高度化等）
- グローバルネットワーク・セキュリティの強化
  （グローバル共通ネットワーク基盤の展開等）

リスクマネジメント

実績

- 事業継続マネジメント（BCM）の取組進捗
  （事業継続リスクへの各種対応策の実施）
- 「パートナーシップ構築宣言」の公表

今後の施策

- グローバルで一体的な事業継続マネジメント（BCM）体制の強化

ステークホルダーコミュニケーション

実績

- IR／SR面談　116社（前年同期比 +21社）
- 日経・東証IRフェア出展
- 有価証券報告書の
  総会9日前 (6/10) 開示



今後の施策

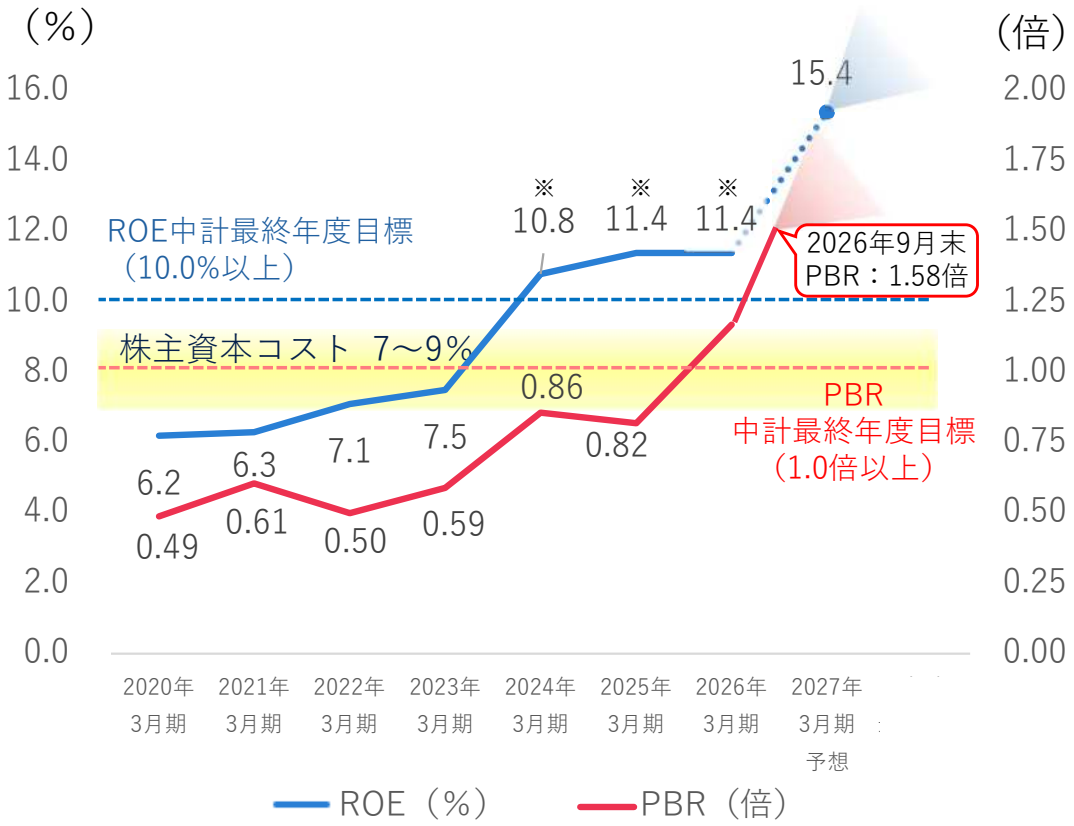
- 個人投資家をターゲットとしたIR動画配信
- 地域社会への貢献／対話・連携の強化

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

持続的成長と企業価値向上

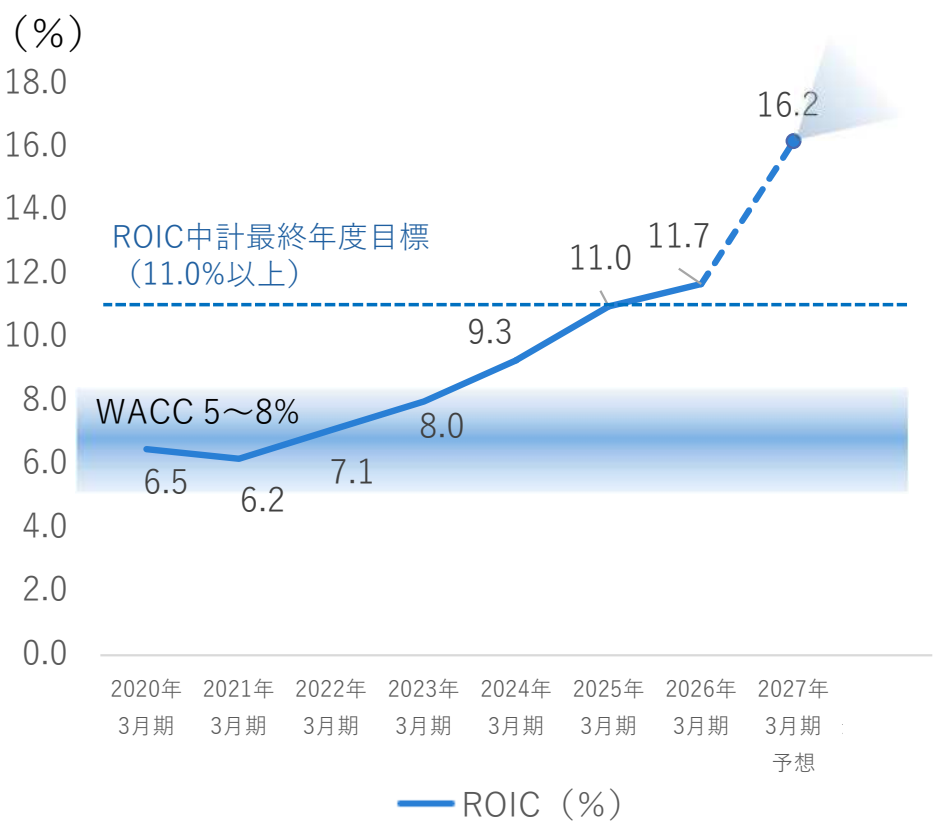
➢今後も成長投資と資本効率向上の取り組みを進め、ROE / PBRの更なる向上を目指す

ROE、PBRの推移



※ は投資有価証券売却益を含むROE

ROIC、WACCの推移



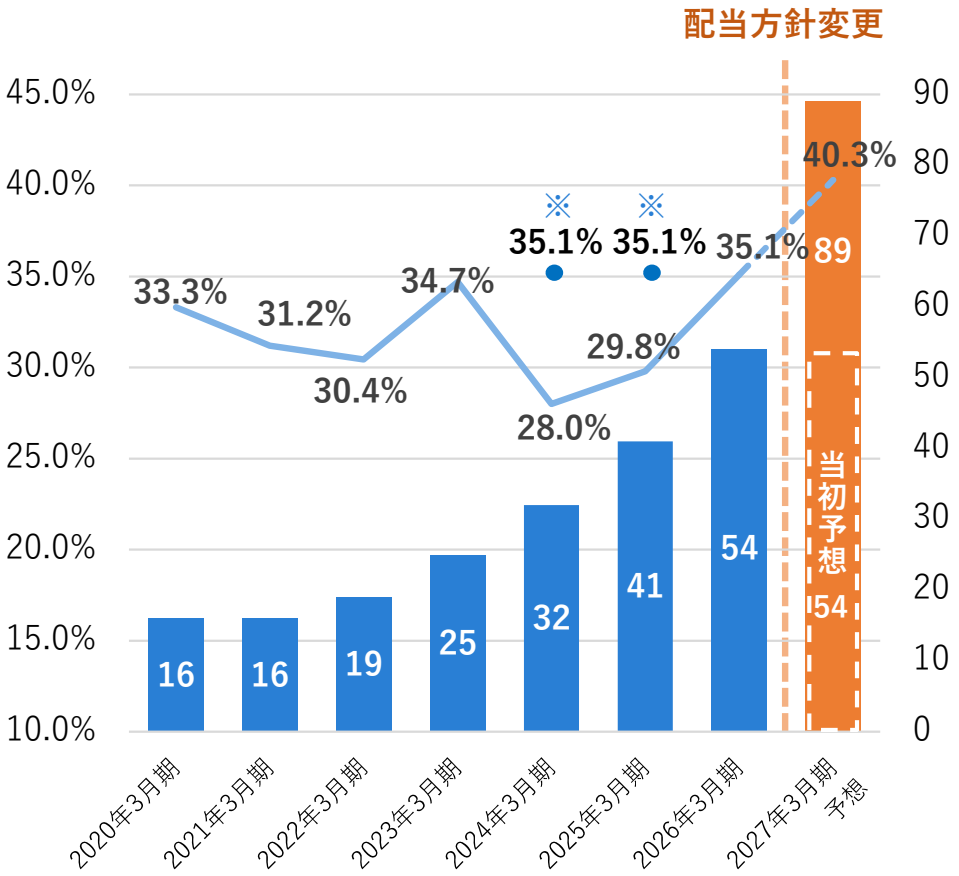
Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

資本政策/株主還元

➢ **配当方針 ： 連結配当性向 40%以上または DOE3.5%以上のいずれか高い方の基準を適用**

（2027年3月期より連結配当性向35%以上から40%以上に変更）

配当性向と配当額推移



※ 投資有価証券売却益の影響額を除いた１株当たり当期純利益で算定（売却額は自己株式取得資金に全額充当）した場合の連結配当性向

2027年3月期　配当見通し

- 前期54円（期初予想54円、7/31修正予想85円）
  ⇒ **89円に上方修正（前期比35円増配）**
- **連結配当性向　　40.3%**

配当総額（予定）約41億円

2027年3月期　自己株式の取得/消却

- **7/31　自己株式取得枠決議**
  400万株(上限) 88億円(上限)
  （取得期間 2026 年 8 月 3 日～2026 年 12 月 30 日）

取得総額（予定）約88億円

※11/6 現在　取得累計　341万株　82億円

※取得した株式は全株消却予定

総還元性向の推移

2025年3月期	2026年3月期	**2027年3月期(予定)**
81.1%	95.3%	**128.3%**

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

免 責 事 項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

お問い合わせ先

webmaster@rikentechnos.co.jp

経営企画部/経理部

RIKEN TECHNOS

会社概要

社名	リケンテクノス株式会社
設立年月日	1951年（昭和26年）3月30日
資本金	85億14百万円
代表者	代表取締役 社長執行役員　常盤和明
従業員数	連結1,904名　単体796名（2026年9月30日現在）
本社所在地	〒101-8336 東京都千代田区神田淡路町 二丁目101番地　ワテラスタワー



Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

経営理念（リケンテクノス ウェイ）

創業当時から引き継いでいる「ベンチャー精神」こそ、リケンテクノスの強みであり、「リケンテクノスらしさ」です。
この「リケンテクノスらしさ」をもとに経営理念である「リケンテクノス ウェイ」は策定されました。
ミッションにある「チャレンジメーカー」という言葉は造語ですが、
製造業という意味でのメーカーの他に、挑戦して何かを創り出す人という意味もこめられています。
未来への飛躍のために、これからも挑戦し続けていきます。



ミッション　“使命・存在価値”

私たちは科学の力で
豊かさ、安心、快適を創り出すチャレンジメーカーです。
独創的で卓越した、樹脂素材の配合加工技術で、
企業と人と社会に新たな価値と喜びを提供し続けます。

コア・バリュー　“基本的価値観”

信頼しあい貢献しあう　新しい価値を生み出す
常に挑戦し成長する　仕事を楽しみワクワクする
共に解決し共に喜ぶ

基本行動　“具体的な行動指針”

失敗を恐れず前向きにやってみる　主役になって仕事を楽しむ
信頼しあう仲間となって助け合う　大事に聴いて本気で話す
笑顔で出てきて笑顔で帰る　顧客の期待の先を行く
新しいことマニアになる　プロなんだから自分を磨く
決めたところまで決めた時期まで

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

長期ビジョン

すべての生活空間に快適さを提供する リーディングカンパニーを目指して

10年後のありたい姿

to customers

新しい発想とアプローチで、
「ものづくり」と
「価値創造」を
実現する

グローバルや新規分野への拡大と
メーカーとしてのものづくりの
未来へのチャレンジ

to society

社会・環境の変化に
柔軟に対応し、
サステナブルな社会
に貢献する

企業として社会的責任を果たし
持続可能な社会へ貢献

to employees

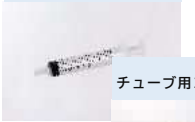
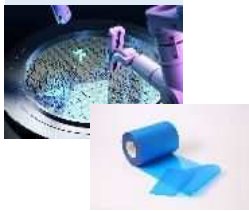
従業員一人ひとりが
「やりがい」「誇り」
を持ち、
共に「成長」する

DE＆Ｉの推進や働き方改革を踏まえ
「人の成長こそ企業の成長」を実践

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

事業領域

合成樹脂加工に係わる総合的な技術をベースに「コンパウンド」「フィルム」「食品包材」の３つの主要製品を柱に、様々な産業に用途に応じた製品を幅広く供給、国内外で事業を展開しています

主要製品	概要	セグメント			
		トランスポーテーション	デイリーライフ&ヘルスケア	エレクトロニクス	ビルディング&コンストラクション
コンパウンド	ベースの樹脂に添加剤を何種類か混ぜ合わせ、新しい性質を持たせた複合材料で、主に押出成形や射出成型に使われる素材。塩化ビニル樹脂をはじめ、熱可塑性エラストマー、難燃性・導電性高機能コンパウンドを開発、製造、販売	ワイヤーハーネス被覆用コンパウンド  窓枠用コンパウンド 	シリンジガスケット用コンパウンド  チューブ用コンパウンド 	パワーケーブル被覆用コンパウンド 	樹脂サッシ用コンパウンド 
フィルム	配合した樹脂の特性に適した製法で高品質フィルム製膜を実施。また、複数のフィルムを貼り合わせたり、表面に塗料をコートすることにより、意匠性や機能性を付与したフィルム製品を開発、製造、販売	自動車ウィンドウ用フィルム 	接木用フィルム 	半導体関連フィルム 	高級壁装用フィルム 
食品包材	日本で初めて塩化ビニル樹脂のラップを開発したパイオニアとして、家庭用から業務用まで、食品包装用ラップの品質・性能を追求するとともに、食品や自動包装機などに適したラップを開発、製造、販売		食品包装用ラップ(小巻)  食品包装用ラップ(太巻) 		

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

マテリアリティ

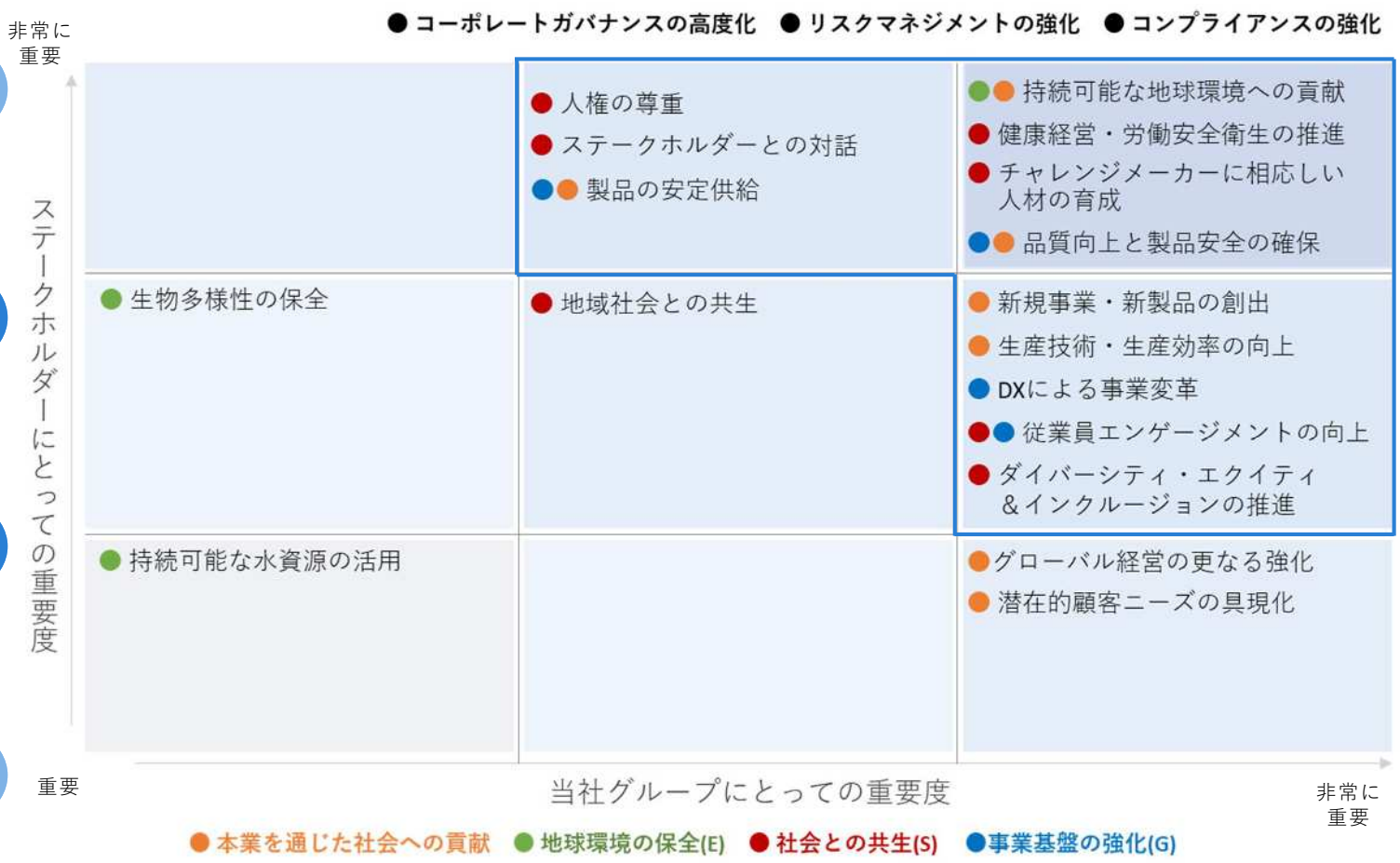
ミッション
（＝使命・存在価値）

長期ビジョン

マテリアリティ

中期経営計画

※青枠：KPI設定項目



Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

マテリアリティの目標・指標（KPI）

マテリアリティ名称	評価の基準（KPI）	実績	中長期目標	
		2025年度	2027年度	2030年度
持続可能な地球環境への貢献	・2030年CO_2排出量削減目標値の達成（単体）	37,563t	29,792t	24,139t （2019年度比46.2%減）
	・2050年カーボンニュートラル（グループ）	-	-	-
	・総廃棄物量の総生産量比（単体）	3.4%	3.2%以下	3.0%以下
健康経営・労働安全衛生の推進	・休業労災発生件数（国内）	6件	0件	0件
	・健康経営優良法人の認定	健康経営基本方針の宣言 社内推進体制の整備	認定取得	認定維持
チャレンジメーカーに相応しい人材の育成	・一人当たりの育成費用（単体）	141千円	160千円	200千円
	・従業員意識調査における対象設問のポジティブ回答率（単体）	64%	70%	75%
品質向上と製品安全の確保	・市場回収を伴う重大品質事故（単体）	0件	0件	0件
	・化学物質の使用に関する法令遵守・重大法令違反（単体）	0件	0件	0件
新規事業・新製品の創出	・特許出願件数（単体）	22件	2025～2027年度 累計75件	2022～2030年度 累計210件
	・新規製品の売上高比率（単体および海外製造子会社）	15%	23%	25%
生産技術・生産効率の向上	・生産キャパシティ（単体）	（2021年度比） ＋9%	2021年度比 +11%	2021年度比 +15%
DXによる事業変革	・MI人材※の育成（単体） ※MIを指導できるレベルの人材	11人	15人	20人
	・DX教育受講率（単体）	100%	100%	100%
従業員エンゲージメントの向上	・エンゲージメントスコア（ポジティブ回答率）（単体）	60%	60%	70%
ダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョン（DE＆I）の推進	・管理職に占めるグローバル人材※の割合（グループ） ※出身国以外での1年以上の勤務経験を有する人材	21%	24%	26%
	・管理職に占める女性の割合（グループ）	19%	20%	22%
人権の尊重	・人権尊重の浸透度（単体）	社内調査実施 （ポジティブ回答：47.6%）	2025年度比 向上	2027年度比 向上
	・仕入先への人権DDの実施と改善対応率100%（単体）	100%	100%	100%
ステークホルダーとの対話	・投資家、既存株主との面談実施（単体）	174件	190件	220件
	・顧客満足度調査の結果に対するアセスメント対応率※（単体） ※対応が必要と判断した顧客のうち、改善対応を完了した顧客の割合	100%	100%	100%
製品の安定供給	・中核製品の供給リスクの把握と方針の決定/対応（単体）	中核製品の供給リスクの把握と方針策定	中核製品の供給リスクの把握と方針の決定/対応	中核製品に関するリスクコントロールの強化

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

グローバルネットワーク

- 製造会社
- 販売会社

- **リケンテクノス株式会社**
- **国内子会社**
  - -リケンケーブルテクノロジー株式会社
  - -リケンケミカルプロダクツ株式会社
  - -株式会社協栄樹脂製作所
  - -株式会社アイエムアイ



















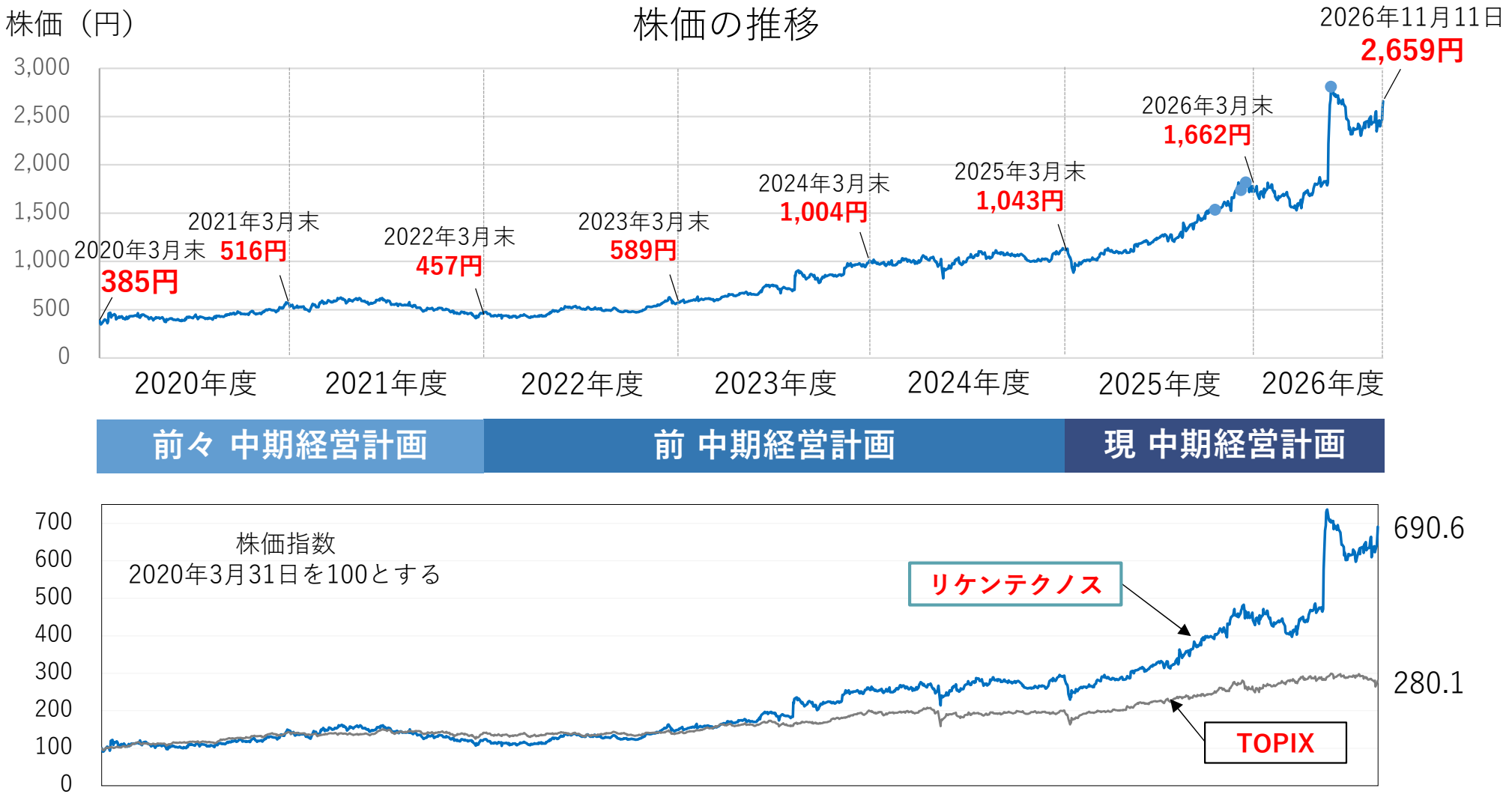




Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

株価推移

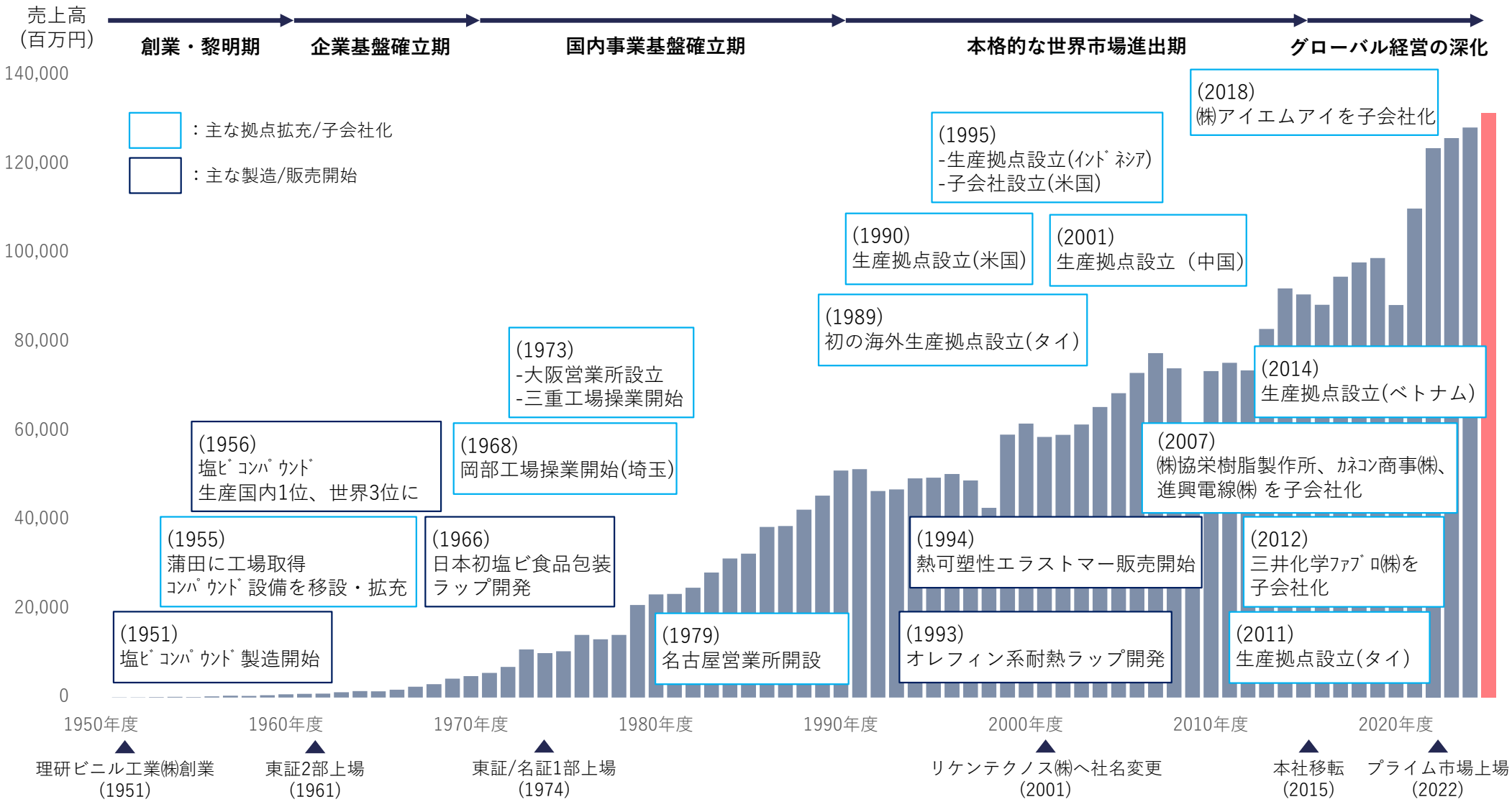
➢株価を意識した経営により順調に上昇基調を継続しており、今後も更なる向上を目指す



Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved

価値創造のあゆみ

1951年の創業以来、国内・海外拠点を拡充させ、多くの製品を世に出し続けてまいりました。



*1999年度より連結決算開始に伴い連結売上高を記載

Copyright © RIKEN TECHNOS CORP. All Rights Reserved